



国際ロータリー第2650地区

2026-27年度

財団補助金申請ハンドブック

地区ロータリー財団委員会

(2026年1月発行)

目次

第1章	ロータリー財団	1
1.	ロータリー財団とは	1
2.	ロータリー財団の使命	1
3.	ロータリー財団のビジョン声明	1
4.	財団資金の管理	1
5.	ロータリー財団モデル	2
第2章	シェアシステムによる財団資金の活用	3
1.	シェアシステム	3
	●RID2650・DDFの活用情報	4
第3章	ロータリー財団の補助金	5
1.	財団補助金の種類	5
2.	財団補助金の概要	5
3.	財団補助金の選び方	6
4.	クラブの資格認定	7
	●クラブの参加資格認定：覚書（MOU）	8
第4章	地区補助金	11
1.	地区補助金申請要項	11
2.	地区補助金の審査	11
3.	地区補助金申請スケジュール	11
4.	地区補助金の留意点	11
5.	地区補助金申請の要件（ロータリー財団）	12
6.	地区補助金申請の要件（第2650地区）	13
7.	人道的奉仕の詳細条件について	14
8.	地区補助金申請書および添付書類について	16
9.	ロータリー財団の承認・第2650地区の承認	16
10.	地区補助金口座	17
11.	地区補助金活動や予算の変更	17
12.	地区補助金委員会の対応について	17
	●2025-26年度・地区補助金委員会メンバー	17
	●2026-27年度・地区補助金委員会 担当一覧	18
13.	クラブ限度額の算出方法について	19
	●RID2650・クラブ年次寄付実績（一人当り）と地区補助金の人道的事業補助金の限度額	20
	●ロータリー財団地区補助金申請書【人道的奉仕事業】（記入注意点含む）	21
	●ロータリー財団地区補助金申請書【奨学金申請用】	25
	●ロータリー財団地区補助金申請 予算見積り依頼先選考理由報告書	27
14.	地区補助金の最終報告書（地区財団資金管理委員会）	30
	●ロータリー財団地区補助金報告書／財務報告書兼収支明細書（チェックリスト含む）	32
	●ロータリー財団地区補助金報告書【奨学金事業用】	33
	●2026-27年度地区補助金の流れ	34
	●2025-26年度地区補助金運用状況	35

第5章	グローバル補助金	42
1.	活動の種類	42
2.	申請書の提出にあたってのヒント	42
3.	モニタリングと評価	43
4.	重点分野の基本方針	45
5.	事業予算規模と第2650地区のDDF申請基準	49
6.	グローバル補助金の申請時期と必要書類	49
7.	グローバル補助金の申請手順	50
8.	グローバル補助金の支払	50
	●寄付送金明細書	
9.	グローバル補助金の報告要件	53
	●RID2650 地区財団活動資金申請書【人道的奉仕・職業研修（VTT）事業】	54
	●RID2650 2023-24年度グローバル補助金事業状況	55
	●RID2650 2024-25年度グローバル補助金事業状況	56
第6章	ロータリー財団奨学金	57
1.	グローバル補助金による奨学金	57
	●RID2650 2026-27年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生募集要項	57
	●RID2650 グローバル補助金奨学金応募申込書	61
	●RID2650 地区財団活動資金申請書【奨学金】	63
第7章	ロータリー平和フェローシップ	65
1.	2つのプログラムの違い	65
2.	申請資格と選考基準	65
第8章	資料	68
1.	地区への提出（覚書・申込・申請・報告書）書類	68
2.	RIの資料	68
3.	財団の用語集（英略語）	69

第1章 ロータリー財団

1. ロータリー財団とは

ロータリー財団は、「国際ロータリーのロータリー財団」The Rotary Foundation of Rotary Internationalというのが正式名称です。国際ロータリーのロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的、教育的目的のためにのみ運営するものとする規定されています。(国際ロータリーのロータリー財団細則)

ロータリー財団は米国イリノイ州の非営利法人国際ロータリーのみを唯一の構成員とした法人です。もちろん国際ロータリーとロータリー財団は独立した法人ですが、理念上も、実際上も、ひとつのロータリーとして機能しています。ひとつのロータリーとして一致団結することで、ロータリーは使命を果たすための強い土台を築いています。

ロータリー会員は会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しています。つまり、ロータリー財団はロータリーの使命を達成するための手段なのです。

2. ロータリー財団の使命

ロータリー財団は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるように支援することである。(ロータリー財団章典10.020. 2020年6月管理委員会会合 決定131号)

3. ロータリー財団のビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

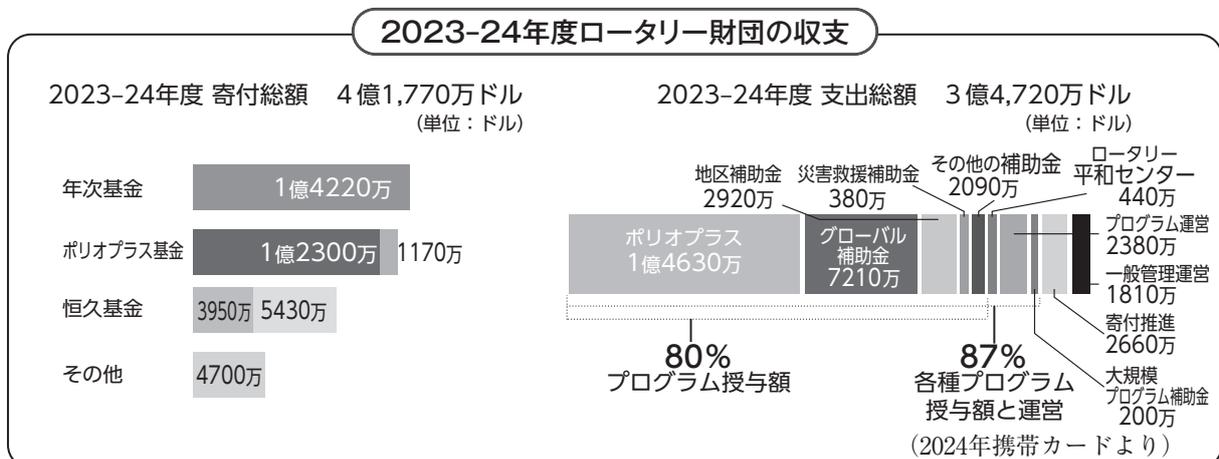
(ロータリー財団章典10.030. 2017年9月管理委員会会合、決定12号)

4. 財団資金の管理

ロータリー財団管理委員会は、世界中のロータリアンやほかの支援者から受け取った資金が、ロータリアンの懸命な努力と献身的な支援による自発的寄付であると認識しています。ロータリアンは、寄付金が本来の目的のために有効に利用されることを確信し、理解したうえで、ロータリー財団に委ねたのです。従って、管理委員会は、これらの資金の管理責任者として、ロータリー財団の補助金とプログラムに関連のある活動において適正な財務運営が行われることの重要性を強調しています。資金が目的に沿って効果的に使われるようにするために、管理委員会は、プロジェクトの実施に携わる地区、クラブ、ロータリアンの誠実さに頼っております。不正を認識した場合は、速やかに調査し、適切な処置を講じます。

資金の適切な管理のため、地区は、ロータリーの補助金を受領する前に、参加資格認定の手続を完了しなければなりません。参加資格認定に関する詳細は、地区の覚書(MOU)およびクラブの覚書(MOU)を参照してください。

- 1) ロータリー財団への寄付：年次基金・ポリオプラス基金・恒久基金およびその他の基金
- 2) ロータリー財団の支出：財団プログラム



ロータリー財団モデル

ロータリー財団は、皆様の「寄付」を資金とし、皆様の「プログラム参加」によって地元及び国際社会に貢献しています。

その他	遺贈友の会(1万ドル以上の遺贈) ロータリー平和センター冠名基金(50,000ドル以上) 冠名基金(25,000ドル以上) レガシー・ソサエティ(100万ドル以上:4つのレベル)	重点分野を指定することも可 (ただし、その寄付はシェアの対象にはなりません)	冠名指定寄付 (15,000ドル以上、グローバル補助金のWF使用指定が出来る) (30,000ドル以上、重点分野と地区を指定出来る)
認 証	アーチ・クランフ・ソサエティ 【累計25万ドル以上・3つのレベル】		
	大口寄付者(メジャードナー) 【累計10,000ドル以上・レベル1~4】		
種 類	ベネファクター【1,000ドル以上】	ポール・ハリス・ソサエティ【毎年1,000ドル】 ポリオプラス・ソサエティ【毎年100ドル】	
		ポール・ハリス・フェロー【累計1,000ドル毎に・マルチプル8段階】	
	恒久基金	年次基金	その他の基金寄付

寄 付

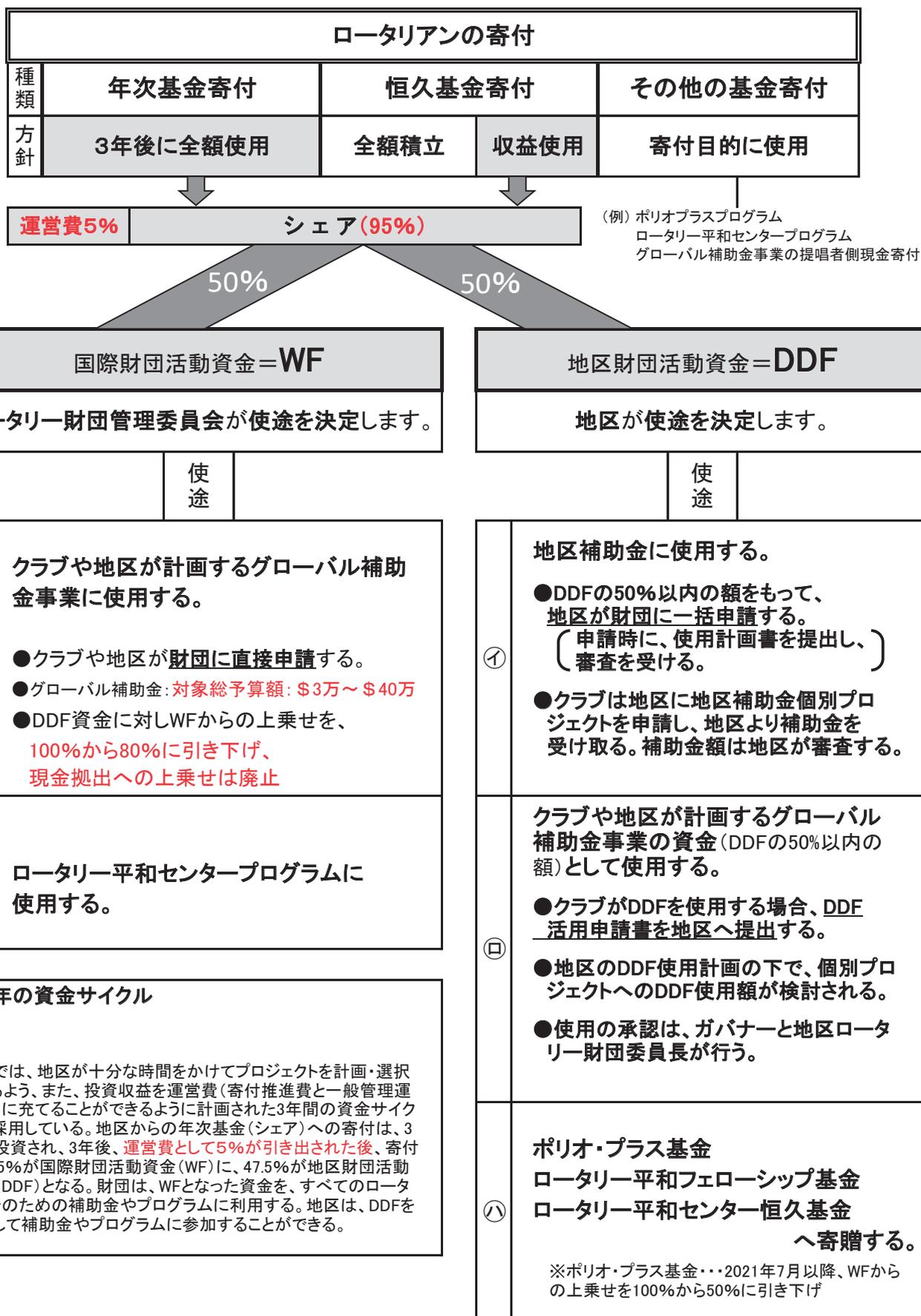
ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援する	使命	ロータリー財団	標語	世界でよいことをしよう
---	-----------	----------------	-----------	-------------

プログラム

グローバル補助金	地区補助金	ロータリー平和センター	ポリオ・プラス
2カ国以上のクラブ・地区が7つの重点分野に関するプロジェクトを協同提唱し、立案実施する国際プロジェクトに授与される。	地区やクラブの裁量で、地元社会や海外で実施する人道的、教育的、社会的な多種多様な奉仕事業に使用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェローシップである。(奨学金) ロータリー平和フェローとは、将来、政府・民間企業・教育・報道機関・その他の職業分野において指導者となる可能性をもつ人々のことである。 ロータリー平和フェローは、ロータリー平和センターで修士課程において2年間学ぶ。(期間は15ヶ月、16ヶ月、21ヶ月、22ヶ月、24ヶ月の各コースがある。) デューク大学・ノースカロライナ大学(米国)、国際基督教大学(日本)、ブラッドフォード大学(英国)、クイーンズランド大学(オーストラリア)、ウプサラ大学(スウェーデン)、マケレレ大学(ウガンダ)、パーチェシエヒル大学(ルワンダ)。 ロータリー平和フェローシップには、専門能力開発の修了証を取得する3ヶ月コースもある。 平和、親善、紛争の原因と世界理解の問題に関する研究、指導、出版および知識の増進を図る目的を持つ。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ポリオ・プラスの定義</div> <p>ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして同時追放を目的とする 現在は、ポリオ撲滅の取り組みにより築かれたインフラやファンドレイジングとアドボカシーのノウハウを、他の疾病対策に生かしていくことも意味している</p> <p>-----</p> <p>ウイルスの伝播を阻止するためのワクチンを世界中の児童に予防接種しようというプログラム</p> <p>-----</p> <p>ポリオの世界的根絶の証明を国際ロータリーの最優先事項としています</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ポリオ・プラス・パートナー</div> <p>ポリオ発生地域で活動するロータリアンを援助し、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①全国予防接種日のための地域社会動員、 ②ポリオ・ウイルス免疫所への援助、 ③ポリオ担当役員・疫病専門医への援助活動の三つのニーズに目標をおき、ポリオ根絶に必要な用具や補給品の費用やその他の活動費用等を支援することを目的としている。
ロータリーのある国でのみ事業実施可	ロータリーのある国でもない国でも可		
補助金対象となるのは、最低予算総額3万ドル以上、WF最高授与額は20万ドル、現金寄付に対しては5%の管理運営費が必要 DDFに対しては1:0.8の補助金(WF)が交付される。	DDFの50%以内で、地区が一括して財団に申請する。 〔申請時に、個別プロジェクトのスペンディングプランを提出すること〕		
事業規模30,000ドル以上が対象	一個別プロジェクト当りの補助額は地区の裁量		
事業例	事業例		
奨学金	奨学金 〔海外留学でも国内でも可〕		
職業研修チーム	職業研修チーム		
人道的プロジェクト	人道的プロジェクト		
重点分野	重点分野		
平和構築と紛争予防	海外での奉仕事業		
疾病予防と治療	災害復興支援		
水と衛生	その他、社会的ニーズの強い奉仕事業		
母子の健康	財団は地区に対して監査を行う事が出来る		
基本的教育と識字率向上	地区はクラブに対して監査を行うことが出来る		
地域社会の経済発展			
環境			
地区・クラブは補助金参加資格を要す	地区・クラブは補助金参加資格を要す		

第2章 シェアシステムによる財団資金の活用

- ・年次基金寄付は、3年後に国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に、**運営費として5%が引き出されたあとで、WFとDDFに均等に二分されます。**
- ・恒久基金寄付は、**収益のみ**がシェアに基づき配分されます。



RID2650・DDFの活用情報

(2025年10月27日現在)

※ 赤字・青字は未確定

◎ DDF 収支一覧表

(単位:ドル)

収支内訳		2023-24年度	2024-25年度	2025-26年度
収入	DDF シェア 額	564,504.47	553,160.20	525,624.97 (暫定)
	繰越 額	453,929.09	466,362.00	427,779.20
	DDF 返 還 額	1,267.10	0.00	0.00
	合 計	1,019,700.66	1,019,522.20	953,404.17
支出	地 区 補 助 金	286,916.00	275,243.00	266,178.00
	グローバル補助金	134,423.00	191,500.00	300,000.00 (予定)
	寄 贈	132,000.00	125,000.00	(予定)
	合 計	553,339.00	591,743.00	566,178.00 (見込み)
残 額		466,361.66	427,779.20	387,226.17 (見込み)

◎ 補助金内訳

地区補助金	年度	DG番号	DDF使用額 ドル	個別プロジェクト数 (件)			交 付 金 額 (ドル)			個別プロジェクト 報告書提出状況
				地区	クラブ	計	地区	クラブ	計	
	2023-24年度	2447049	286,916	0	79	79	368	286,548	286,916	100% IRCより返金あり
	2024-25年度	2559742	275,243	0	80	80	143	275,100	275,243	100% 管理費は返金
	2025-26年度	2675911	266,178	0	79	79	63	266,115	266,178	
	合 計		828,337	0	238	238	574	827,763	828,337	

グローバル補助金	GG番号	PY	DDF使用額 ドル	援助国側	実施国	重点分野	種別	status
2344007	23-24	16,000	2650地区 3350+5000	ベトナム	水と衛生	人道的	23-24承認 paid	
2460968	23-24	41,000	京都洛北	カナダ	疾病予防と治療	奨学金	23-24承認 paid	
2461590	23-24	40,000	京都南	オーストラリア	水と衛生	奨学金	23-24承認 paid	
2348940	23-24	12,000	2650地区 2485+1150	コンゴ	環境	人道的	23-24承認 paid	
2459167	24-25	25,500	福井北	トンガ	疾病予防と治療	人道的	24-25承認 paid	
2572687	24-25	48,500	奈良	ドミニカ共和国	疾病予防と治療	人道的	24-25承認 paid	
2576227	24-25	34,000	奈良	英国	平和構築と紛争予防	奨学金	24-25承認 paid	
2576800	24-25	29,000	京都東	カナダ	疾病予防と治療	奨学金	24-25承認 paid	
2577018	24-25	28,500	奈良大宮	スウェーデン	環境	奨学金	24-25承認 paid	
2577927	24-25	26,000	京都南	英国	平和構築と紛争予防	奨学金	24-25承認 paid	
2464383	25-26	30,000	京都西	米国ハワイ	環境	人道的・VTT	25-26承認 paid	
2459680	25-26	50,000	2650地区 9104+7930	ガーナ	母子の健康	人道的	申請中	
2575732	25-26	49,676	京都伏見	フィリピン	母子の健康	人道的	申請中	
2683961	25-26	12,000	敦賀	タイ	水と衛生	人道的	手続き中	
2567674	25-26	45,000	びわ湖八幡	パキスタン	水と衛生	人道的	申請中	
2577910	25-26	55,000	桜井	インドネシア	疾病予防と治療	人道的・VTT	手続き中	
合計	23-24	134,423	(paid)	8カ国	5分野			
	24-25	191,500	(paid)					
	25-26		()					

◎ 寄贈内訳

(単位:ドル)

寄贈	年度	ポリオプラス	ロータリー平和プログラム	その他	合 計
	2023-24年度	107,000.00	25,000.00	0.00	132,000.00
2024-25年度	100,000.00	25,000.00	0.00	125,000.00	
2025-26年度 (予定)			25,000.00	0.00	25,000.00
計		207,000.00	75,000.00	0.00	282,000.00

第3章 ロータリー財団の補助金

1. 財団補助金の種類

ロータリー財団の補助金は、以下の2つです。

1. 地区補助金 (DG = District Grants)
2. グローバル補助金 (GG = Global Grants)

2. 財団補助金の概要

地区補助金

地元や海外で行う小規模で短期（1年以内に終了）の活動に活用する補助金です。
この補助金は地区が管理・配分しますので、クラブは地区の申請要件に従わなければなりません。

グローバル補助金 . . .

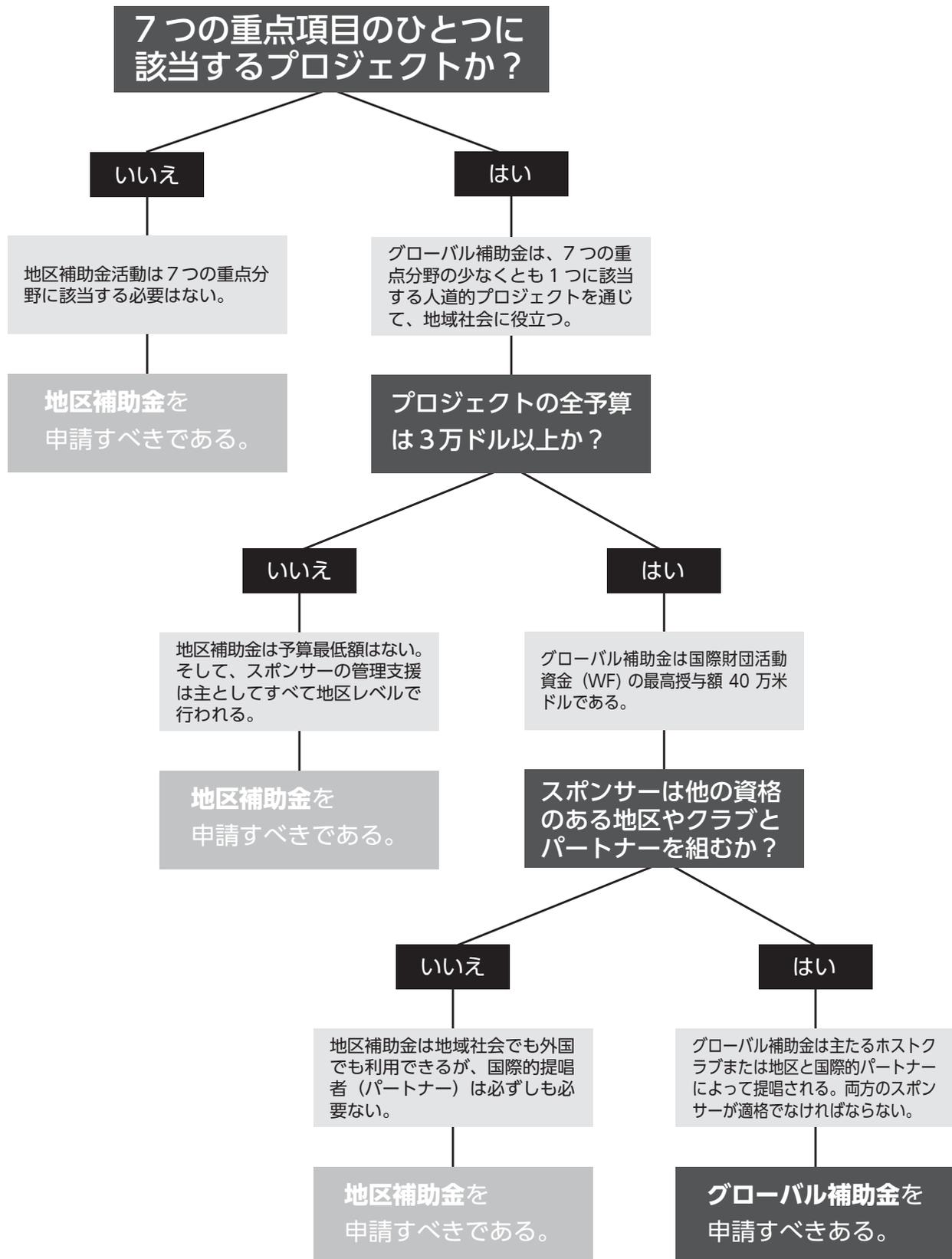
以下に該当する大規模な活動（3万ドル以上）に活用する補助金です。

- 7つの重点分野のいずれかに該当すること
- 活動が実施される国のクラブまたは地区と、それ以外の国のクラブまたは地区がパートナーとなって提唱する
- 実施地の人々が特定したニーズを満たす
- 地域社会調査が立案段階に人道的プロジェクトまたは職業研修チームのために2018年7月1日より加わり、申請時にその結果を添付しなければならない。
- 実施地の人々が積極的に参加する
- ロータリーの活動が終了しても、実施地の人々が自力で取り組んでいくことができる（成果が持続する）
- 測定可能な成果をもたらす

3. 財団補助金の選び方

プロジェクトの補助金のタイプを決定する

地区 / クラブは**人道的プロジェクト**に関心があります。次の質問は、ロータリアンのスポンサー（援助提供者）が、グローバル補助金に申請するのか、地区補助金にするかを決定する時に役立ちます。



参考：TRF 研修ワークブック 2013年1月17-19 サンディエゴ CA USA

4. クラブの資格認定

補助金の管理を徹底させ、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。財団補助金を利用する代表提唱クラブは、地区によって資格が認められなければなりません。この資格は、以下を実行することによって取得することができます。尚、当地区では、財団補助金の申請有無を問わず全クラブに資格認定を受けるよう、強く推奨しています。クラブの資格認定は、取得から1年間有効です。

1) 資格認定プロセス

- ① 毎年、最低1名のクラブ会員が地区主催の補助金管理セミナーおよび財団セミナーに出席する
- ② ロータリー財団から提供される覚書（MOU:Memorandum Of Understanding）に記載された財務と資金管理要件を遂行する（会長と会長エレクトが覚書に署名をし、提出する）
- ③ 地区が独自に定めた要件を順守

2) 補助金管理セミナー

(目的)

補助金を効果的に管理し、資金を適切に監督する上で必要な知識や情報を提供する為の研修です。

(出席者)

当地区では、クラブ会長エレクト、会長ノミニ、次年度幹事、次期ロータリアン財団委員長を義務出席者としています。また、財団補助金に関心のある全てのクラブ会員に対し、参加のうえ補助金管理について学ぶよう奨励しています。

(欠席クラブ)

原則として、本セミナーに遅刻・早退・欠席したクラブは資格認定を受けることはできません。しかし、やむを得ない事由がある場合は、地区ロータリアン財団委員会にご相談下さい。補講を検討致します。

●年間地区財団関係セミナー

地区ロータリアン財団委員会はロータリアン財団の情報提供と研修の機会として、地区・研修協議会（4月）、地区財団セミナー（8月）、地区財団補助金管理セミナー（1、2月頃）および11月のロータリアン財団月間を中心にクラブ卓話用資料を提供し、クラブをサポートします。

3) クラブの参加資格認定：覚書（MOU）

参照：次頁

特記事項：

2026-27年度のクラブ参加資格には、地区財団セミナーおよび補助金管理セミナーを受講されることを条件とします。

クラブの参加資格認定:覚書(MOU)

ロータリー財団 (第 2650 地区の補足あり)

1. クラブの参加資格
2. クラブ役員の責務
3. 財務管理計画
4. 銀行口座に関する要件
5. 補助金資金の使用に関する報告
6. 書類の保管
7. 補助金資金の不正使用に関する報告

1. クラブの参加資格

クラブは、ロータリー財団の地区補助金とグローバル補助金の活用にあたって、ロータリー財団(以下「財団」)から提供されるこの覚書(MOU)に記載された財務と資金管理の要件を遂行すること、および、毎年最低1名のクラブ会員を地区主催の補助金管理セミナーに出席させることに同意しなければならない。

地区は、クラブの参加資格として追加の要件を定めたり、地区補助金の活用についてもクラブの参加資格認定を義務づけることができる。これらの条件をすべて満たすことにより、クラブの参加資格が認定され、ロータリー財団補助金プログラムにクラブが参加することが認められる。

- A. 参加資格条件がすべて満たされた場合には、1 ロータリー年度にわたり、クラブの補助金への参加資格が認められる。
- B. クラブが認定状況を維持するには、この覚書(MOU)、地区が定めた追加要件、その他該当するすべてのロータリー財団方針を順守しなければならない。
- C. 資金の管理を誰が行ったとしても、クラブが提唱した補助金資金の使用に対しては、クラブが責任を負う。
- D. 以下のような補助金資金の不正使用ならびに不適切な管理(ただしこれらに限られない)が確認された場合、クラブの参加資格が保留、あるいは取り消しとなる場合がある。
不正、偽造、会員情報の改ざん、重大な過失、また受益者の健康、福利、安全を脅かす行為、不適切な寄付、私益のための資金使用、利害対立の未開示、個人による補助金資金の独占、報告書の偽造、水増し行為、受益者からの金銭の受領、不法行為、認められていない目的での補助金資金使用。
- E. クラブは、いかなる財務監査、補助金監査、業務監査にも協力しなければならない。

2. クラブ役員の責務

クラブ役員は、クラブの参加資格認定およびロータリー財団補助金の適切な使用について主要な責任を有する。

クラブ役員の責務には以下が含まれる。

- A. クラブの資格認定手続きの遂行と管理、認定状況の維持を担当するクラブ会員を最低 1名任命する。
- B. すべてのロータリー財団補助金が、資金管理の方策と適切な補助金管理の慣行に従って管理されるよう確認する。

- C. 補助金に関与するすべての人が、実際の利害の対立や、利害の対立であると認識される事態を避けるように活動するよう確認する。

3. 財務管理計画

クラブは、補助金の一貫した管理を行うために、書面で財務管理計画を作成しなければならない。

財務管理計画には、以下の手続きが含まれていなければならない。

- A. すべての領収書と補助金資金の支払いの記録を含め、標準的な会計基準に則って会計を維持する。
- B. 必要に応じて、補助金の資金を支払う。
- C. 資金の取り扱いは、複数の人で分担する。
- D. 補助金で購入した備品・設備やその他の財産の目録システムを確立し、補助金関連活動のために購入したもの、作られたもの、配布されたものの記録を付ける。
- E. 資金の換金等を含む全補助金活動が、現地の法律や規制を順守したものであることを確認する。

4. 銀行口座に関する要件

補助金資金を受け取るには、ロータリー財団の補助金資金の受領と支払いのみを目的とする口座をクラブが設けなければならない。

- A. クラブの銀行口座は以下を満たしていなければならない。
 - 1. 資金の支払いには、クラブの少なくとも 2名のロータリアンが署名人となること。
 - 2. 低金利、または無金利の口座であること
- B. 利子が生じた場合には、すべて書類に記録し、承認された補助金活動に使用するか、ロータリー財団に返還しなければならない。
- C. クラブが提唱する各補助金につき、別個の口座を開設し、口座名は、補助金用であることが明らかに分かるものとするべきである。
- D. 補助金は、投資用口座に預金してはならない。これには、投資信託、譲渡性預金、債権、株の口座が含まれる(ただし、これらに限られるものではない)。
- E. ロータリー財団補助金資金の受領および使用を裏付ける銀行明細書をいつでも提示できるようにしておかなければならない。
- F. クラブは、署名人の交代に備えて、銀行口座の管理責任の引継ぎ計画書を作成し、保管しなければならない。

5. 補助金資金の使用に関する報告

クラブは、ロータリー財団のすべての報告要件に従わなければならない。補助金に関する報告を通じて、ロータリー財団は補助金の使用状況を知ることができる。このため、この報告は補助金の適切な資金管理の重要な部分である。

(地区の補足)

報告書提出時に、事業実施後の支出金額が申請時の支出予定額より減額となり、残金が生じた場合は、補助金に係る部分の金額を地区に返金しなければならない。

6. 書類の保管

クラブは、参加資格認定とロータリー財団補助金に関連する重要書類を保存するための、適切な記録管理システムをつくり、これを維持するものとする。これらの書類を保管することにより、補助金管理の透明性が保たれるとともに、監査や財務評価の準備に役立つ。

- A. 保管する必要がある書類には、以下が含まれる(ただし、以下に限られない)。
1. 銀行口座に関する情報(過去の銀行明細書を含む)。
 2. 署名入りのクラブの覚書(MOU)を含む、クラブの参加資格認定に関する書類。
 3. 計画や手続きを記載した書類。これには以下が含まれる。
 - a. 財務管理計画書
 - b. 書類の保存と管理の手続き
 - c. 銀行口座署名人の引継ぎ計画書、および銀行口座の情報と書類の保管
 4. 購入したすべてのものの領収書と請求書を含む、補助金に関連する情報
- B. クラブの記録は、クラブのロータリアンが、または地区が要請した場合は地区が、閲覧、入手できるようにしなければならない。
- C. 書類は、少なくとも5年間、もしくは国や地域の法律によってはそれ以上の期間、保管しなければならない(日本の場合、グローバル補助金奨学金に関する書類は10年間保管しなければならない)。

7. 補助金資金の不正使用に関する報告

補助金資金の不正使用や不適切な管理があった場合、またはそう疑われる場合には、クラブはこれを地区に報告しなければならない。このような報告により、補助金資金の不正使用が絶対に許されないという環境をクラブ内に作り出すことができる。

承認と同意

この覚書(MOU)は、クラブと地区の間に交わされる同意書であり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものである。この文書を承認することにより、クラブは、この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従うことに同意する。

_____ ロータリークラブを代表し、下記署名人は、**2026-27** ロータリー年度のこの覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続に変更や修正があった場合には、国際ロータリー第 **2650** 地区に通知することに同意する。

クラブ会長	
会長就任年度	2025-26 年度
氏名	
署名	
日付	

クラブ会長エレクト	
会長就任年度	2026-27 年度
氏名	
署名	
日付	

第4章 地区補助金

1. 地区補助金申請要項

クラブは、ロータリーのある国と地域およびロータリーの無い国と地域において、財団の使命に関連する以下の活動やプロジェクトを目的として、第 2650 地区ロータリー財団委員会に地区補助金を申請することができます。

2. 地区補助金の審査

補助金の審査は、地区ロータリー財団委員会全委員で行います。

3. 地区補助金申請スケジュール

2026年	1月24日	補助金管理セミナーに参加し、覚書(MOU)に署名してガバナー事務局に送付することでクラブは参加資格を得ることができます
	3月1日 ↓ 4月17日 (締切厳守)	クラブは申請書を地区補助金委員会に提出する。 注) 地区委員会から不備・指摘事項の連絡があれば訂正が必要です。その為、できるだけ早く申請書を提出してください。
	5月末頃 ↓ 6月初旬	クラブに地区の審査結果が届く。 注) 上記はロータリー財団の審査結果ではありません。 地区よりロータリー財団へ一括申請し、ロータリー財団より承認が下りるまで事業は実施できません。
	7月以降	ロータリー財団より地区へ承認通知が届き次第、地区よりクラブへ通知。 ロータリー財団の承認が下りて、初めてクラブは事業開始可能となる。 ロータリー財団より地区へ入金があり次第、クラブへ補助金送金します。 注) 財団承認通知が届く前に事業を開始した場合は、補助金事業とならず、クラブ事業として扱われます。やむを得ず7月事業開始を予定する場合は、事前に地区補助金委員会へ相談の上、承認前着手のリスク(全額自クラブ負担)をクラブ内で了承してください

* 上記スケジュールの流れを P. 34 の「地区補助金の流れ」としてご紹介しております。

4. 地区補助金の留意点

地区補助金の申請において疑問点があれば、担当の地区補助金委員会にお問い合わせ願います。
ご質問は補助金管理セミナーの受講者、または MOU の署名人からご質問ください。

(理由)

毎年、ハンドブックの内容を変更しています。地区委員からの回答もハンドブックに沿った内容となりますので、受講されていない方からお問い合わせいただきますと、最初からの説明が必要となる場合があります。そのため、補助金管理セミナーの受講者からご質問くださいますようお願いいたします。

5. 地区補助金申請の要件(ロータリー財団)

クラブは、ロータリー財団の「ロータリー財団 地区補助金 授与と受諾の条件」を順守しなければなりません。

※一部抜粋 P68

1. 受領資格のある活動

地区補助金の受領資格がある活動

- A. ロータリー財団の使命に沿っていること。
- B. 以下を含むこと
 - 1. 地元または海外での奉仕プロジェクト
 - 2. 奨学金(教育のレベルは問わない)
 - 3. 職業研修チーム(特定分野について教える、または学ぶ専門職従事者のグループ)、
- C. ロータリー会員が積極的に参加すること。
- E. 参加する未成年の安全と健康を守り、国際ロータリーの青少年保護方針を遵守すること
- G. 実施地の伝統と文化に配慮する姿勢を示すこと。
- H. ロータリー財団章典の第30.040節「プログラム参加者の利害の対立に関する方針」、およびセクション10「補助金における利害の対立に関する方針」に概説されている方針を遵守すること。

受領資格のない活動および支出

- A. 特定のグループ(種類を問わない)を差別するもの。
- B. 完全に宗教を目的とした催し物を行うこと
- C. 特定の人、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援を行うこと。
- G. ファンドレイジング(募金)活動 ※

地区補助金の資金は、以下の為に使用できない

- K. 補助金が承認される前に発生した費用、または進行中もしくは既に完了した活動
- L. ロータリー財団、ポリオプラス、またはほかの財団補助金への寄付
- M. 土地や建物の購入
- P. 地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽イベント、プロジェクトでの式典などのロータリー行事に関連する経費
- Q. 広報的な取り組み(プロジェクトの完了に不可欠な場合を除く) ※
- R. 1,000米ドルを超える、プロジェクトの標識
- S. 他団体の運営費、管理費、間接的なプログラム経費
- T. 特定の人物や協力団体への使途無指定の現金寄付。
- U. 新型コロナウイルスのワクチン
- V. ポリオワクチンのみを投与する予防接種

6. 地区補助金申請の要件(第 2650 地区)

クラブの活動やプロジェクトは、財団だけではなく第 2650 地区の要件にも該当しなければなりません。代表提唱クラブに対して配分される地区補助金は、前年度のクラブの一人当たりの年次基金寄付実績に基づいての算定を原則とします。複数のクラブが共同してプロジェクトを実施する場合、代表提唱クラブが地区補助金の申請ができます。

第 2650 地区で定めている制約事項

1. 地区補助金申請は1クラブ 1 申請(1つの事業に限る)
2. 他の補助金や他団体の補助金との併用は不可。
3. クラブは、地区から参加資格の認定を受けること。(財団セミナー及び補助金管理セミナーへの参加、MOU 提出)
4. プロジェクトは年度内に終了すること(奨学金はこの限りではない)
5. 利害の対立を回避、あるいは利害の対立の可能性を開示すること。(選考理由 報告書提出 P. 27)
6. 青少年交換、RYLA、ロータリーの友情交換、ローターアクト、インターアクトへの支援に補助金は使えない。

奨 学 金	
補助金交付限度額	高校生以下は、総額 40 万円 / 1 クラブ
	大学生以上は、総額 100 万円 / 1 クラブ
クラブの自己拠出金	補助金申請書提出時は、補助金申請額の 20%以上 補助金報告書提出時は、補助金交付額の20%以上
交付基準 ※交付限度額は厳守	P. 20 に記載の2025-26補助金限度額(\$)を参照ください。P. 19 に計算方法記載
条 件	<ul style="list-style-type: none"> • 一人1回限りとする • 大学生は国内外を問わず100万円以下とする。 • 奨学金の支給は、申請クラブにて優秀な学生でかつ経済的に困難な状況にあるかを適正に審査する。 • 音楽・美術・スポーツなどの海外留学への奨学金は、候補者としての資質を判断する為、コンクールの実績や先生の推薦を必要とする。奨学金授与期間は、1年を超えないものとする。 • 学生が他団体から別の奨学金を受けていないものとする。 • 2650 地区内に在住、もしくは在学しているものとする。未成年者と見なされる方の海外留学の申請は不可とする。

注)グローバル奨学金については、第5章 グローバル補助金および第6章 ロータリー財団奨学金をご参照ください。

人 道 的 奉 仕	
補助金交付限度額	120 万円
クラブの自己拠出額	補助金申請書提出時は、補助金申請額の 20%以上 ※補助金報告書提出時は、補助金交付額の20%以上
交付基準 ※交付限度額は厳守	P. 20 に記載の2026-27補助金限度額(\$)を参照ください。P. 19 に計算方法記載
条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 既に進行中または完了したプロジェクトへの助成は認められません。 ● ロータリーが主導しない事業(他団体が主催する事業など)への助成は、認められません。※ ● 主たる事業内容が、単なる物品の寄贈に類する事業は認められません。※ ● 寄贈式典の費用は、認められません。※ ● 行政および、それに準じる団体に対する事業は認められません。 ● 同一事業への助成は、延べ3回までしか認められません。※ ● 予備費・管理費等、明細や見積書のない費用は認められません。 ● 図書券・クオカードなどの金券類を購入することはできません。 ● 海外に青少年を伴う奉仕事業は、承認が遅れる可能性があるため認められません。P.16「ロータリー財団の承認について」をご参照ください※ ● ロータリアンやその家族・親族・知人の弁当代等の飲食費、旅費等の交通費は認められません。 ● ロータリアンが着用するブルゾンやTシャツの費用は認められません。

※については、以下に詳細説明を記載しています。

※職業研修(VTT)についても、上記と同様の交付限度額がありますので、委員会にご相談ください。

7. 人道的奉仕の詳細条件について

A) ロータリーが主導しない事業への助成は、認められません。

他団体の継続的事業運営費(ランニングコスト)を援助する事業

他団体が行う事業への事業補助費が主な目的の事業

他団体が行うイベントへの協賛については、事業等の立ち上げや新たな活動への支援に重点を置き、受益者や地域社会の自立を促すことが望まれます。新たなニーズへチャレンジをすることで、地域社会に変化をもたらすことができます。

B) 請負業者への一括発注に関する制約

請負業者や協会等への一括発注・一括請求のみによる支出は、補助金事業の透明性確保の観点から認められません。

支出の内訳(単価・数量・参加者名簿等)を明確にし、領収書を個別に取得することを原則とします。

C) 主たる事業内容が、単なる物品の寄贈のみの事業は認められません。

寄贈のみの事業であり、その贈呈式典を事業とすることは認められません。

全体予算の大部分が寄贈品の購入に使われる場合、その事業は寄贈事業とみなす場合があります。

ただし寄贈を伴う場合でも、クラブが主体となり、啓発活動・交流事業・教育的プログラム等を併設し、地域社会に具体的な変化や学びをもたらす事業であることが明確な場合は、この限りではありません。
申請書「事業内容」に活動の具体的内容を明記してください。

D) 同一事業への助成は、延べ3回までしか認められません。

2024-25年度申請分を始期として、同一事業及び事業の内容が異なる場合であっても奉仕の対象が同一の組織や法人に対する地区補助金事業は延べ3回までとします。

ただし、これはロータリー地区補助金に関する基準であり、各クラブが独自予算で継続事業を行うことは否定されません。

特定の受益者に対しての支援を、完了時期を定めることなく何年も継続する事や過度の支援は、受益者の自立を妨げてしまうことがあります。

E) 複数クラブによる共同事業について

複数クラブが共同して一つの奉仕事業を実施することは可能です。

ただし、補助金の申請および交付は代表提唱クラブを通じて行うものとします。

共同事業を行う場合は、各クラブの地区補助金限度額を合算して申請することができます。

各クラブの、事業での役割・資金負担を明確にし、共同で実施する合理的理由(例:規模の大きな地域奉仕事業、複数地区にまたがる取組など)を申請書に記載してください。

小規模クラブが単独では困難な事業を共同で行うことを目的とし、連携を推進する趣旨で運用します。

F) 青少年が参加する奉仕事業についての注意点

ロータリー青少年保護の手引きを遵守する必要があります。

特に青少年の旅行【長距離の移動(県外移動)や宿泊を伴う活動】を実施する際は、地区危機管理ハンドブックに記載されている事項の遵守及び各種許可の取得が必要になります。

※詳しくは地区危機管理ハンドブックを確認ください。(2650地区ホームページその他の資料に掲載)

上記に該当する事業を実施する場合は、別途「青少年保護・危機管理確認書(様式)」を添付することを義務付けます。

G) 広報的取り組みに関する制約

広報活動のみを目的とした事業(例:看板設置、横断幕掲出、チラシ配布、広告枠購入など)、事業終了後の広告・宣伝行為(例:新聞広告・広報誌掲載)は、地区補助金の対象外です。

広告費の計上は、事業遂行に不可欠かつ必要最小限の範囲に限ります。(例:安全確保のための案内看板、参加者募集の為の告知費用など)過大計上は認められません

ロータリーロゴ使用に関する制約

広告物・印刷物・記念品等にロータリーロゴを使用する場合は、RIのビジュアル・アイデンティティ・ガイドラインを遵守してください。

ロゴ使用に際し、RIへの事前申請が必要な場合があります(例:記念品・横断幕・うちわなど)使用可否やデザイン調整に関して不明点がある場合は、地区公共イメージ委員会に事前に確認してください。

8. 地区補助金申請書および添付書類について

活動の内容(人道的活動・職業研修／奨学金)に応じて、第2650地区補助金申請書(ガバナー事務局から送付)に漏れなく記載して地区に申請します。

その際、申請書には、「見積書」及び「予算見積依頼先選考理由書」を添付して送付してください。

※但し、見積書の相手先がロータリアンでない場合は「予算見積依頼先選考理由書」は必要ありません。

【見積書】について

見積書については以下の点を注意してください。

1. 見積書には日付が明記されていることが必要です。
2. 宛先は提唱ロータリークラブでなければなりません。協力団体や受益者は不可です。
3. **見積書を取得できない講師謝礼金などは、理由書を添付してください。報告書提出時に必ず領収書を添付してください。**
4. 見積書をはじめ添付書類が外国語の場合は、和訳が必要です。
5. 見積書には通し番号を振って戴き、申請書の予算内訳と合うようなご配慮をお願いします。1枚の見積書で複数の予算内訳書の項目にわたる場合は、予算内訳書の各項目の番号は見積書の番号に合わせてください。

【予算見積依頼先選考理由書】について

利害の対立の回避と可能性の開示の義務

ロータリアンは、補助金活動から直接的／間接的利益を受ける事はできません。ロータリアンの経営する団体や企業から、やむを得ない理由(その商品やサービスを扱っている業者がロータリアンの企業だけの場合など)で補助金により商品やサービスを購入する場合は、「予算見積依頼先選考理由報告書」(P. 27 参考)に記載してご提出下さい。

※支援先がロータリアンの運営する団体や施設であっても、そのロータリアンに利益がない場合には補助金活動が認められる場合がございます。この場合は必ず申請書に開示して下さい。また、このロータリアンはプロジェクトに直接関与することはできません。

9. ロータリー財団の承認・第 2650 地区の承認

ロータリー財団の承認は、地区から「地区補助金の交付について(お知らせ)」と「地区補助金の振込先口座情報通知依頼書」の発送をもって通知と致します。この書式を受領したクラブは補助金口座を開設し、地区ロータリー財団委員会に口座情報を提供の上、地区補助金の着金を待ちます。

注意:ロータリー財団の承認通知が地区事務所から届くまでは、決してプロジェクトや活動の開始はしないでください。

10. 地区補助金口座

地区が財団の正式な承認を受けた後、地区事務所から申請クラブに「地区補助金の振込先口座情報通知依頼書」を送信します。クラブは地区補助金専用口座を開設し、複数の補助金が同一の口座に混在しないよう注意します。口座名は地区補助金専用とわかるものが望ましく、クラブの拠出金も一旦口座に入金して下さい(活動実施地が海外で、現地から資金提供がある場合は入金する必要はありません。)

受領した地区補助金とクラブの拠出金を他の口座に振り替えることなく、活動に要する経費の全ての入出金を地区補助金口座により行い、通帳に記録します。

少なくとも2名以上の会員が補助金口座の入出金を管理しなければなりません。

11. 地区補助金活動や予算の変更について

地区補助金は、ロータリー財団に承認された活動のみに使用する必要があります。承認後、やむを得ず活動内容やプロジェクト(寄贈物品の種類、寄贈先、予算、活動内容など)を変更する場合は、変更の大小にかかわらず、事前に地区財団補助金委員会へ連絡し、承認を受けてください。

なお地区補助金の返金は、認められていません。地区補助金の交付額は全額執行をお願い致します。

12. 地区補助金委員会の対応について

クラブの地区補助金事業は、構想段階から事業完了まで、様々な疑問や問題が発生する可能性があります。これらに対して、地区補助金委員会が対応しております。

※事業終了後の報告書については、資金管理委員会へお問い合わせください。

地区補助金に関するご質問は、各クラブ担当委員の一覧をご確認の上、メールにて委員会メンバーへお問い合わせください。

2025-26年度 地区補助金委員会メンバー

委員長	西枝 英幸	京都西	hideyuki@cohju.co.jp
副委員長	堀内 眞治	奈良大宮	horiuti@plum.ocn.ne.jp
	大橋 浩志	福井フェニックス	h-ohashi@na-system.co.jp
	山本 憲宏	八日市南	kenko_yamamoto@grace.ocn.ne.jp
地区補助金 委員会委員	浜崎 大祐	大津	ap@hamaso-kantei.jp
	日置 友純	福井あじさい	dbmap.com@gmail.com
	井澤 茂	福井北	s-izawa@eiko-ind.co.jp
	木下 哲次	京都南	tetsuji@steps-inc.jp
	近東 宏佳	奈良	kondo2@kspkk.co.jp
	南 聡	京都モーニング	minami@mlo-98.jp
	中井 一雄	京都南	kazuo.nakai@hikarimotors.co.jp
	大谷 俊介	京都西	shunsuke.otani@gmail.com
	佐々木 太郎	京都北	taro@s-planning.co.jp
	竹脇 義成	栗東	yosimitu-2010@nike.eonet.ne.jp
	山田 兼一郎	京都洛東	k-yamada@maunablue.jp
	吉川 弘晃	橿原	hiroakiyoshikawa_19@yahoo.co.jp

2026-27年度 地区補助金委員会 担当一覧

2026/1/30

クラブ名	担当委員
綾部	大谷 俊介
福知山	大谷 俊介
福知山西南	大谷 俊介
亀岡	山田 兼一郎
亀岡中央	山田 兼一郎
京丹後	佐々木 太郎
京都	南 聡
京都伏見	木下 哲次
京都平安	南 聡
京都東	木下 哲次
京都東山	木下 哲次
京都北東	大谷 俊介
京都イブニング	大谷 俊介
京都城陽	大谷 俊介
京都桂川	大谷 俊介
京都北	南 聡
京都南	佐々木 太郎
京都モーニング	佐々木 太郎
京都紫野	木下 哲次
京都中	南 聡
京都西	木下 哲次
京都乙訓	佐々木 太郎
京都洛中	南 聡
京都洛北	佐々木 太郎
京都洛南	山田 兼一郎
京都洛西	佐々木 太郎
京都洛東	佐々木 太郎
京都嵯峨野	南 聡
京都さくら	木下 哲次
京都西北	山田 兼一郎
京都西南	南 聡
京都紫竹	木下 哲次
京都朱雀	山田 兼一郎
京都田辺	中井 一雄
京都山城	中井 一雄
京都八幡	中井 一雄
舞鶴	中井 一雄
舞鶴東	中井 一雄
宮津	山田 兼一郎
園部	山田 兼一郎
宇治	中井 一雄
宇治鳳凰	中井 一雄

クラブ名	担当委員
福井	井澤 茂
福井あじさい	大橋 浩志
福井フェニックス	井澤 茂
福井東	井澤 茂
福井北	大橋 浩志
福井南	井澤 茂
福井西	井澤 茂
福井水仙	井澤 茂
勝山	日置 友純
丸岡	日置 友純
三国	日置 友純
大野	日置 友純
鯖江	日置 友純
武生	大橋 浩志
武生府中	日置 友純
敦賀	大橋 浩志
敦賀西	大橋 浩志
若狭	大橋 浩志

あすか	近東 宏佳
五條	堀内 眞治
平城京	堀内 眞治
橿原	近東 宏佳
奈良	吉川 弘晃
奈良東	堀内 眞治
奈良西	堀内 眞治
奈良大宮	吉川 弘晃
桜井	堀内 眞治
大和郡山	吉川 弘晃
やまとまほろば	近東 宏佳
やまと西和	近東 宏佳
大和高田	吉川 弘晃

クラブ名	担当委員
びわ湖八幡	浜崎 大祐
五個荘能登川	浜崎 大祐
東近江	浜崎 大祐
彦根	竹脇 義成
彦根南	竹脇 義成
湖南	竹脇 義成
草津	竹脇 義成
甲賀	竹脇 義成
守山	山本 憲宏
長浜	山本 憲宏
長浜東	山本 憲宏
長浜北	浜崎 大祐
近江八幡	山本 憲宏
大津	山本 憲宏
大津中央	浜崎 大祐
大津東	浜崎 大祐
大津西	浜崎 大祐
栗東	山本 憲宏
高島	山本 憲宏
野洲	山本 憲宏
八日市南	浜崎 大祐

Eクラブ	近東 宏佳
------	-------

13. クラブ限度額の計算方法

クラブは地区補助金を人道的奉仕交付基準に合わせ申請できます。

P. 20 地区補助金限度額の表に記載された金額が、2026-27 地区補助金限度額 (\$) です。

念のため、下記にて算出方法の例を記載しております。

一人当たり年次寄付実績の20倍の額を申請可能(ただし交付限度額は120万円まで)

1. P. 20 の表から自クラブの 2026-27 地区補助金限度額 (\$) を確認してください。
2. クラブの1人当たり2024-25年次寄付実績 (\$) 180) に20を掛けてください。
3. この計算結果より3, 600ドルが年次寄付実績に基づく補助金限度額 (\$) となります。
4. 2026年3月のロータリーレートで3, 600ドルを日本円に換算した額が、補助金限度額 (¥) です。

※ 一人当たり年次寄付実績×20の金額が120万円を超える場合、交付限度額は120万円となります。

恒久基金寄付による限度額追加交付の条件

全てのクラブが恒久基金への寄付を推進するために、各奉仕事業における補助金限度額の増額条件は以下の通りです。

(追加交付条件)

クラブの2024-25年度の恒久基金寄付実績に基づき年間寄付額1, 000ドルごとに100ドルの限度額増額が可能です。(1, 000ドル未満の単位については、全て切り捨てて計算します)

ただし増額の上限は1クラブにつき1, 000ドルです。

例) ●●クラブは、2024-25年度の一人当たり年次寄付実績が180ドル、恒久基金寄付が2, 000ドルの場合の計算は次の通りです。

1. クラブ補助金申請額

- 一人当たり年次寄付実績: $180\text{ドル} \times 20 = 3,600\text{ドル}$
- 恒久基金寄付による追加増額 $2,000\text{ドル} \div 100\text{ドル} = 200\text{ドル}$
- 合計 $3,600\text{ドル} + 200\text{ドル} = 3,800\text{ドル}$

2. クラブ補助金申請限度額の円換算

- $3,800\text{ドル} \times 140\text{円}$ (仮に2026年3月ロータリーレートを140円とした場合) = **532,000円**

3. クラブ自己拠出額

- 上記の補助金申請額 $532,000\text{円} \times 20\% = 106,400\text{円}$ (クラブの自己資金)

4. 奉仕事業規模

- 補助金申請額 $532,000\text{円} +$ 自己拠出額 $106,400\text{円} =$ **総額638,400円** 以上の事業を実施してください。

※申請に当たっては、2026年3月のロータリーレートで計算をしてください。

**RID2650・クラブ年次寄付実績(一人当たり)と
地区補助金 の人道的事業補助金の 限度額**

クラブ名	2024-25 一人あたり 年次寄付実績(\$)	2024-25 恒久基金 寄付実績による追加額(\$)	2026-27 補助金限度額 (\$)	クラブ名	2024-25 一人あたり 年次寄付実績(\$)	2024-25 恒久基金 寄付実績による追加額(\$)	2026-27 補助金限度額 (\$)	クラブ名	2024-25 一人あたり 年次寄付実績(\$)	2024-25 恒久基金 寄付実績による追加額(\$)	2026-27 補助金限度額 (\$)
綾部	151	0	3,020	京都朱雀	202	100	4,140	福井あじさい	189	0	3,780
福知山	188	0	3,760	京都田辺	120	0	2,400	福井フェニックス	211	0	4,220
福知山西南	179	0	3,580	京都山城	84	0	1,680	福井東	186	100	3,820
亀岡	164	0	3,280	京都八幡	108	0	2,160	福井北	202	0	4,040
亀岡中央	168	0	3,360	舞鶴	176	0	3,520	福井南	316	0	6,320
京丹後	195	100	4,000	舞鶴東	193	0	3,860	福井西	190	100	3,900
京都	218	0	4,360	宮津	51	0	1,020	福井水仙	256	0	5,120
京都伏見	252	0	5,040	園部	207	0	4,140	勝山	62	0	1,240
京都平安	234	0	4,680	宇治	180	0	3,600	丸岡	120	0	2,400
京都東	192	100	3,940	宇治鳳凰	176	0	3,520	三国	103	0	2,060
京都東山	221	0	4,420	びわ湖八幡	185	300	4,000	大野	199	0	3,980
京都北東	175	0	3,500	五個荘能登川	211	0	4,220	鯖江	207	0	4,140
京都イブニング	254	0	5,080	東近江	229	100	4,680	武生	181	100	3,720
京都城陽	147	0	2,940	彦根	152	100	3,140	武生府中	322	0	6,440
京都桂川	262	200	5,440	彦根南	164	0	3,280	敦賀	203	0	4,060
京都北	317	0	6,340	甲賀	192	0	3,840	敦賀西	194	0	3,880
京都南	218	0	4,360	湖南	178	0	3,560	若狭	155	0	3,100
京都モーニング	179	0	3,580	草津	174	0	3,480	あすか	180	1000	4,600
京都紫野	211	0	4,220	守山	206	100	4,220	五條	158	0	3,160
京都中	191	0	3,820	長浜	207	100	4,240	平城京	486	100	9,820
京都西	213	0	4,260	長浜東	193	100	3,960	檀原	201	0	4,020
京都乙訓	187	0	3,740	長浜北	126	0	2,520	奈良	220	100	4,500
京都洛中	183	100	3,760	近江八幡	167	100	3,440	奈良中央	0	0	0
京都洛北	230	100	4,700	大津	202	0	4,040	奈良東	240	100	4,900
京都洛南	235	0	4,700	大津中央	155	0	3,100	奈良西	63	0	1,260
京都洛西	199	0	3,980	大津東	150	0	3,000	奈良大宮	220	200	4,600
京都洛東	112	0	2,240	大津西	146	0	2,920	桜井	200	0	4,000
京都嵯峨野	211	0	4,220	栗東	138	0	2,760	大和郡山	184	300	3,980
京都さくら	209	0	4,180	高島	206	100	4,220	やまとまほろば	180	0	3,600
京都西北	148	200	3,160	野洲	208	100	4,260	やまと西和	187	0	3,740
京都西南	75	0	1,500	八日市南	230	200	4,800	大和高田	198	300	4,260
京都紫竹	128	0	2,560	福井	260	0	5,200	Eクラブ2650	220	100	4,500



1・クラブ名	
2・プロジェクト名	
実施場所	
実施期間	開始日 年 月 日 ~ 予定終了日 年 月 日
事業の要旨	

3・事業内容についてお書き下さい。

4・プロジェクトは、どのように地元社会や国際社会のためになりますか? その地域社会で恩恵を受ける人は誰ですか?
また、何のために役立つもので、どういう成果が期待できますか?

5-1・プロジェクトに何名のロータリアンが参加しますか?	5-2・プロジェクトの受益者は何名ですか?

6・プロジェクトにおいてロータリアンは何をしますか。少なくとも2つの例をお書きください。

7・プロジェクトを実施することで、どのような長期的影響が期待されますか?

8・本活動がロータリーの提唱プロジェクトであることを、どのような方法で一般の人々に広報しますか?

9・協力団体が関与する場合、協力団体の名称及び役割を記述してください。

協力団体の名称	役割

10・海外での事業の場合、その地域にロータリークラブがある場合、そのロータリークラブの名称及び協力内容を記述してください。

ロータリークラブの名称	協力内容

11・予算—プロジェクト全体の、全ての項目を含む詳細な明確化された予算を含めてください。

予算内訳	見積番号	数量	単価	金額
合 計				¥0

地区補助金申請書のご記入について

1. 事業の実施期間について

事業の開始は、ロータリー財団の承認が下りるまでできません。承認時期が不確定なため、事業の開始日は8月以降が望ましいです。もし7月に事業を開始する計画がある場合は、必ず事前に地区委員にご相談ください。

2. 事業の要旨について

記載例:「〇〇を対象に、△△を目的として□□を開催する。主な費用は〇〇費、△△費、□□費などです。」
100文字以内でご記入をお願いいたします。

3. 事業内容について

この事業を行う理由や概要を簡潔に記載してください。公知の事実やウィキペディア等からの情報、ロータリーの理念、付度を促すような文章は不要です。

4. 恩恵を受ける対象者(受益者)について

補助金事業によって恩恵を受ける方々の人数や、どのような方々が対象かを記載してください。ただし、恩恵を受ける方の中にロータリアンを含めることはできません。

5. プロジェクトへのロータリアンの参加人数と受益者の人数

この事業には何名のロータリアンが参加しますか?多くのロータリアンの参加が望まれます。

受益者の人数は何名程度を計画されていますか?より多くの受益者を対象とした事業が望まれます。

6. ロータリアンの役割

このプロジェクトにおいて、ロータリアンがどのような役割を果たすのか、少なくとも2つの具体例を挙げてください。補助金事業は、ロータリークラブが主導して計画・実施するものであり、単なる物品寄贈や他団体の事業補助費は認められていません。

7. 協力団体が関与する場合

協力団体が関与する場合、その団体名と役割を記載してください。特に青少年が関与する場合は、保護者や学校と責任の取り決めを行ってください。

ロータリー青少年保護の手引きを遵守する必要があります。

青少年の旅行【長距離の移動(県外移動)や宿泊を伴う活動】を実施する際は、地区危機管理ハンドブックに記載されている事項の遵守及び各種許可が必要になります。

青少年(未成年者含む)を海外に渡航させる事業については、上記各種許可及びロータリー財団からの質疑応答や追加資料の請求など申請受理から承認までの時間がかかることがあります。

この間、他のクラブの申請も全て承認が保留されてしまい他クラブに多大な迷惑をかけるために、青少年(未成年者含む)を海外に渡航させる事業については、地区の制約を設けさせていただいております。

8. 予算内訳書

見積書には通し番号を振って戴き、申請書の予算内訳と合うようなご配慮をお願いします。1枚の見積書で複数の予算内訳書の項目にわたる場合は、予算内訳書の各項目の番号を見積書の番号に合わせてください。

10. 資金計画について

1. P. 20 記載の補助金申請額(ドル)と円換算金額を記入してください。
2. クラブの調達資金(円)を記入してください。
3. その他の資金がある場合、その金額(円)を記入してください。
4. 予算合計と資金計画合計は必ず一致するようにしてください。

※ドルから円への換算は、2026年3月のロータリーレートで行ってください。

12・資金計画 (9の予算の合計額と資金合計額は同じであること)		水色セルにドル金額(数字のみ)を入力すると、 ↓横のセルに日本円が自動計算で表示されます↓
1.補助金申請額		
2.クラブ調達資金(1の20%以上の金額)		
3.その他の資金		
4.合計 (円)		¥0

2026年3月のロータリーレート=()円：1ドルで計算

13・利害の対立について
 貴クラブ会員を含むロータリアンの経営する団体や企業から、事業に必要な物品やサービス等を購入する場合は、理由を選考理由報告書に記入の上、申請書と共に提出下さい。(*複数件ある場合は、複数枚ご用意願います)

ロータリアンより物品・サービスを購入する いいえ はい

14・プロジェクト連絡担当者(プロジェクト内容を把握されている方を記入してください)
 プロジェクト補助金の不備を無くし管理に当たる2名のロータリアンを記載してください。
 署名人のうち一人は、補助金管理セミナーの出席者とし、本申請書の内容がセミナー時の地区委員の説明に反していないか、ご確認ください。

代表連絡担当者名		クラブでの役職：	
日中連絡可能な時間			
携帯電話		FAX	
電子メール			
連絡担当者名		クラブでの役職：	
日中連絡可能な時間			
携帯電話		FAX	
電子メール			

15・以下についてご確認とご承諾をお願いします(口にチェックしてください)

- 2650地区に、クラブの参加資格認定覚書(MOU)を提出しました。
- 財団の承認が上記記載の事業開始日以降の場合、地区補助金事業と認められずクラブ事業とすることを了承します。
- 継続事業ではないですか(同一の事業に対する地区補助金活用は、延べ3回までです)
- 未成年者(IA含む)やRA等、青少年が関わる事業ですか
 ↑上記でチェックがない場合、保護者や両親とクラブとの間で責任の所在を取り決めてください
- クラブ調達資金は、補助金申請額の20%以上になっていますか
- 予備費・雑費・事務費など、見積書の添付のない予算を記入していませんか
- 申請書に記載の見積番号と別添見積書の番号は一致していますか
- 別添:見積書の宛先は、すべて貴クラブ宛となっていますか
- 利害の対立がある場合、情報開示していますか(13及び別紙選考理由報告書を提出してください)

16・承認
 本プロジェクトに関与する全ロータリー財団委員会に対し、プロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。
 申請者の署名は、提唱者がその責任を理解し、了承したことを確認することになります。
 提唱者の署名は、その知る限りにおいて本申請書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

2025-26年度()ロータリークラブ会長エレクトとして、
 私はここに、当クラブがクラブ活動として本プログラムを実施することを決定したことを確認致します。
 尚、プロジェクト実施にあたり、覚書の遵守を誓約します。

氏名： _____ 署名： _____ 日付： _____

13. 利害の対立について

ロータリアンが補助金活動で直接的・間接的に利益を受けることはできません。やむを得ずロータリアンの企業から商品やサービスを購入する場合は、P. 25 予算見積り依頼先選考理由報告書を添付してください。

14. 連絡担当者について

プロジェクトの内容を把握している連絡担当者の名前、日中に連絡が取れる時間帯、連絡先を2名分ご記入ください。

ロータリー財団への申請・承認手続きについて

1. 提出方法

地区補助金は、2650地区が地区内各クラブからの申請を取りまとめ、1件としてロータリー財団本部へ提出します。なお、財団本部への申請は年度内に1回のみ行うことができます。

2. 申請時期

各クラブが年度開始(7月)から事業を開始できるよう、2650地区では5月中旬に審査を実施し、その終了後1週間以内に財団本部へ申請します。

3. 承認手続きと留意事項

申請書類の審査過程において、いずれかのクラブの申請に関して財団本部から質問が寄せられた場合、該当クラブの回答が遅れると、他のクラブの申請もすべて保留となります。

このため、地区としても財団本部の承認がいつ下りるかを確定的にお伝えすることはできません。

4. 承認通知

財団本部から承認が下りた後は、3日以内に全クラブへ通知いたします。

通知を受けた時点で、事業を開始することが可能となります。

5. 事業開始に関する重要注意

承認通知を受ける前に事業を開始された場合、

「授与と受諾の条件」に基づき、補助金の交付対象外となります。

事業の着手時期には十分ご注意ください。

奨学金申請用

クラブ名	ロータリークラブ
------	----------

プロジェクト連絡担当者 2名 (内容を把握されている方を記入)

代表連絡担当者名		クラブでの役職	
日中連絡可能な時間			
電話		FAX	
メールアドレス			

連絡担当補佐		クラブでの役職	
日中連絡可能な時間			
電話		FAX	
メールアドレス			

推薦する奨学生について

(姓)	(名)	性別	男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/>
生年月日		年齢	才
現在の身分	<input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 大学院生 <input type="checkbox"/> 社会人 (勤務先:)		

※個人情報保護の観点から、奨学生の詳細情報が分かる資料の添付は一切禁止します。

提案する専攻過程の詳細

就学先となる教育機関の名称	
教育機関の場所 (国、都市)	
教育機関のウェブサイト	
専攻課程	
専攻課程における公式言語	
留学の場合の開始予定日	
留学の場合の終了予定日	

○ここに提案された奨学金は、グローバル補助金の奨学金には適合しない奨学金ですか?

はい いいえ

○奨学金受給予定金額とその必要性を説明してください。

受給予定金額		円
受給理由		

○奨学金事業行金計画

水色セルにドル金額（数字のみ）を入力すると、
↓横のセルに日本円が自動計算で表示されます↓

1.補助金申請額			
2.クラブ調達資金(1の20%以上の金額)			
3.その他の資金			
4.授与予定金額合計			¥0

2026年3月のロータリーレート = ()円：1ドルで計算

○奨学生の学業面と職業面での目標を記述し、
これらの目標を達成する上で奨学金がどのように役立つかを説明してください

成果の持続と測定可能性

○地域社会のニーズに長期的に取り組むために奨学生は学業で学んだことを、
どのように生かしていきますか。

承認

本プロジェクトに関与する全ロータリークラブは、地区ロータリー財団委員会に対し、プロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。申請者の署名は、提唱者がその責任を理解し、了承したことを確認することになります。また提唱者の署名は、その知る限りにおいて、本申請者の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

2025-26年度 (_____) ロータリークラブ会長エレクトとして、私は、ここに
当クラブがクラブの活動として本プログラムを実施することを決定したことを確認致します。

氏名：

署名：

日付：

選考理由 報告書

事業名	
------------	--

見積り依頼した会員企業	
名 称	

見積り依頼内容	
内 容	

依頼選考理由	※クラブ会員企業に、どうして見積り依頼したか？

見積り(予算金額) 別紙見積り(添付資料) を参照願います。	
総 額 (税込)	円

確認署名 (_____) ロータリークラブ会長エレクトとして、
私は本申請書の全ての記載事項が真実であり、
正確であることを確認いたします。

(2025-26年度) 会長エレクト

氏名 _____ 署名 _____ 日付 _____

【別紙様式】青少年保護・危機管理確認書

青少年が関わる奉仕事業(未成年・IA・RA 含む)で、長距離移動・県外移動・宿泊を伴う活動を実施する場合は、本確認書を必ず提出してください。(奨学金関連プロジェクトを含みます)

■ 基本情報

クラブ名			
プロジェクト名			
代表者氏名		クラブでの役職	
提出日			

■ 確認事項(全項目記入必須)

参加者の年齢	最少(歳)		最大(歳)	
参加者の人数				
世話役(付き添い)氏名		間柄		人数
活動の期間(日数)		開始日		終了日
移動距離(自宅⇄活動地)				
行き先地区/国名(地域)				

■ 宿泊形式(該当するものを選択)

宿泊施設種別		ホスト名(施設名)	
1部屋あたり宿泊人数		付き添いの大人	同室or 別室

■ 誓約欄

本クラブは、当該事業の実施に際して、ロータリー青少年保護の手引きおよび地区危機管理ハンドブックの内容を遵守し、関係者への周知・保護者同意書の取得・緊急対応体制の整備を完了したことを確認します。

クラブ会長エレクト氏名			
署名		日付	

※本確認書は「地区補助金申請書」に添付してください。

【別紙様式】青少年保護・危機管理確認書 （記入例）

青少年が関わる奉仕事業（未成年・IA・RA 含む）で、長距離移動・県外移動・宿泊を伴う活動を実施する場合は、本確認書を必ず提出してください。（奨学金関連プロジェクトを含みます）

■ 基本情報

クラブ名	〇〇RC		
プロジェクト名	青少年交流事業		
代表者氏名	財団 三郎	クラブでの役職	青少年奉仕理事
提出日	2026.4.1		

■ 確認事項（全項目記入必須）

参加者の年齢	最少（歳）	15歳	最大（歳）	18歳	
参加者の人数	20				
世話役（付き添い）氏名	財団次郎	間柄	保護者	人数	6名
活動の期間（日数）	30日間	開始日	7月1日	終了日	7月30日
移動距離（自宅⇄活動地）	250k				
行き先地区／国名（地域）	地区		国名、地域		

■ 宿泊形式（該当するものを選択）

宿泊施設種別	ホテル等の宿泊施設	ホスト名（施設名）	京都ビジネスホテル
1部屋あたり宿泊人数	2名	付き添いの大人	同室or 別室

■ 誓約欄

本クラブは、当該事業の実施に際して、ロータリー青少年保護の手引きおよび地区危機管理ハンドブックの内容を遵守し、関係者への周知・保護者同意書の取得・緊急対応体制の整備を完了したことを確認します。

クラブ会長エレクト氏名	財団太郎		
署名	署名	日付	署名

※本確認書は「地区補助金申請書」に添付してください。

14.地区補助金の最終報告書（地区財団資金管理委員会）

クラブは、事業終了後1カ月以内に「ロータリー財団地区補助金報告書」（以下、最終報告書という）を地区財団資金管理委員会に提出しなければなりません。活動が12カ月以内に完了しない場合は、中間報告書の提出が必要です。その後、次年度に事業が終了した時点で、2期通算の最終報告書を提出しなければなりません。

事業がやむを得ず中止となった場合でも、中止が決定した後1カ月以内に報告書を提出しなければなりません。

従って、地区補助金を申請したクラブはすべて、報告書を提出しなければなりません。

地区では「最終報告書」に基づき、プロジェクトの実施内容および金銭の収支状況等を審査し確認のうえ、ロータリー財団に報告します。

地区補助金を活用されたクラブの責任者の方は、審査がスムーズにパスするよう次の事項を順守し、「最終報告書」をご提出頂きますようご協力をお願いします。

最終報告書及び中間報告書を期日までに提出しない場合、次年度の地区補助金の申請ができないことがありますので、提出期限を含む報告書の要件を厳守して下さい。また、プロジェクトの実施と資金使用に関する財団の方針と指針を順守しなかった補助金提唱者は、補助金の全額を返還しなければなりません。

【報告書作成の留意点】

報告書

- ・プロジェクト終了後1カ月以内の提出期限に「最終報告書」を提出する。
(ロータリー財団地区補助金報告書・財務報告書兼収支明細書・チェックリスト)
提出期限とは、不備のない報告書（下書きや不備のある書類は不可）が地区財団資金管理委員会に受理されるべき期限です。
- ・「最終報告書」は、クラブのプロジェクト実施責任者（当該年度のクラブ会長）の署名と提出日を記入すること。提出時に、実施したプロジェクトの様子が分かる週報・会報・新聞記事等を添付する。または、プロジェクトの記録写真を何枚かA4用紙1枚におさめて印刷し、添付頂いても結構です。

収支明細書

- ・「プロジェクト収入総額」と「プロジェクト支出総額」が一致するよう記入する。
収支明細書は「収入の部」と「支出の部」が一致するよう記入する。
- ・地区から振り込まれた補助金は交付決定額を収入欄に、振込手数料は支出欄に区分する。
- ・補助金の入金後、申請時のクラブ負担金を速やかに地区補助金専用通帳に入金する。
支払いは専用口座から支出し、最終残金はクラブ会計口座に移動する等、専用口座に残金のないように終了する。
- ・預金利息も収入金額として計上し、すべてプロジェクト事業に使い切る。

通帳

- ・預金通帳の口座名は、原則、補助金専用口座名としますが、自クラブ名の口座でも可とします。個人口座名は不可です。

- ・通帳の表紙および入出金ページ（取引のページ）の写しを提出する。
- ・収支明細書の収入、支出欄と銀行口座の入出金記録が整合していること。
- ・補助金振込前の口座の残高はゼロに、事業完了後の口座の残高もゼロにする。
- ・中間報告書の場合も、通帳の写しを添付する。

領収書

- ・収支明細書支出欄の各項目と領収書に同一の整理番号を振る。
- ・領収書が取得できない場合はその理由と、支出責任者による「支払証明書」を作成し添付する。（A4用紙、自由書式、作成者の署名は必須）
- ・領収書はすべて原本であること。A4サイズ以外の大きさの領収書は、A4の白紙用紙に時系列（または項目別に時系列）に番号を付けて貼付する。
- ・領収書には、日付が記されていること。
- ・領収書の但書には、支出内容がわかる明細が記されていること。支出内容等が不明な場合は、内訳が確認できる請求書・納品書・見積書のいずれかを添付すること。
- ・領収書の発行者は、購入業者であること。
発行者が受益者や協力団体、共同提唱ロータリークラブ発行の領収書は原則不可。
- ・領収書のあて先は、すべてクラブ名であるべきだが、やむを得ず担当者個人のネット等を利用している場合等は、A4サイズの「支払証明書」を作成し添付すること。

その他

- ・領収書等の会計証憑書類が他言語の場合、邦訳を添付する。また、外貨による領収書は当日のレートを証明する資料を添付し、邦貨で表示する。
- ・補助金管理のため、報告書等のすべて書類をクラブで5年間保管する。
- ・補助金の不正使用は許されません。

ロータリー財団地区補助金報告書

ロータリアンが記入して下さい。本書式にて地区に提出して下さい。

ロータリー・クラブ _____

プロジェクト名 _____

プロジェクト概要

1 プロジェクトを簡潔に説明して下さい。プロジェクト活動では、何が、いつ、どこで実施されましたか。
また、その恩恵を受けた人々は誰ですか。

開催期間(日): _____

開催場所: _____

2 プロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 _____ 名

3 ロータリアンは何をしましたか。少なくとも2つの例をお書き下さい。

4 本プロジェクトから、何名の人々(ロータリアン以外)が恩恵を受けましたか。 _____ 名

5 地域社会に対するどのような長期的影響が期待されますか。

6 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

財務報告

7 収入

プロジェクト収入総額 _____ 円

8 支出

プロジェクト支出総額 _____ 円

9 本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書を地区に提出しました。

証明の署名(現年度会長) _____ 日付 _____

署名者の氏名(ローマ字表記)、

ロータリーでの役職: 現年度会長 _____ President: _____

財務報告書 兼 収支明細書

クラブ名: _____ ロータリー・クラブ _____

[収入の部]

行番	年月日	相手先名	内 容	金 額	領収書番号	備 考
1			地区からの補助金			振込手数料除前の金額を記入して下さい
2			クラブ自己資金			
3			その他の資金			
4			預金口座受取利息			
5			プロジェクト収入総額(A)			

[支出の部]

行番	年月日	相手先名	内 容	金 額	領収書番号	備 考
1		地区	地区補助金の振込手数料			地区から送付される『補助金振込のお知らせ』で確認
2						
15			プロジェクト支出総額(B)			
				(A)-(B)=0		

財務報告書 兼 収支明細書作成のためのチェックリスト

収入の部

- 収入の部の行目は、地区から交付した補助金(振込手数料込み)を記載して下さい。
- クラブ自己資金は、補助金交付額の20%以上にして下さい。(人道的奉仕事業・職業研修・奨学金事業いずれも)
- 支出の部の行目は、地区から交付した補助金の振込手数料を記載して下さい。
- 支出日は領収書の日付と一致または近い日になっていきますか? 不一致等の場合は、その理由を備考欄に記入して下さい。
- 領収書は、時系列(または項目別に時系列)に番号を付けて、A4サイズ白紙のり付けし、原本を提出して下さい。
- 領収書に不備がある場合は、その理由と、支払責任者名による「請求書や納品書などのコピーを添付して下さい」。
- 領収書に但書き(記載がない場合は、支出の詳細な内容がわかる請求書や納品書などのコピーを添付して下さい)。
- 地区補助金専用口座通帳のコピーを添付して下さい。
- (通帳の裏紙・地区からの入金がかかるページ・取引のページ・残高0円のページ)
- 外割による支払いは支払日の前日までに換算して記入して下さい。(外貨換算の取扱いとなるレートの資料も添付して下さい。)

支出の部

- 事業に関係のある収入・支出だけを記入して下さい。
- 申請時の予算書に計上された項目に準拠するように記入して下さい。
- 支出金額が収入金額を上回る場合は、クラブ資金で収支を一致させて下さい。(不足金額はクラブ負担となります)
- 地区補助金専用通帳の残高は「0円」になってますか? (クラブ資金を専用口座に入金→専用口座から支出→残高はクラブ会計口座へ移動することが原則です)

報告書提出のための確認事項

- 事業の記帳を掲載した新聞・会報、事業を周知するチラシ等を添付して下さい。
- 掲載した記事等がなければ、写真何枚かをA4用紙1枚〜2枚にレイアウトしてご提出ください。
- 委員署名報告書の「収入・支出」上、財務報告書の「収入・支出」合計金額の記載は一致していますか。

その他

第2650地区ロータリー財団 地区補助金報告書

奨学金事業用

クラブ名:

ロータリークラブ

奨学生:

姓	名	性別	男性 <input type="checkbox"/>	女性 <input type="checkbox"/>
生年月日	年齢	才		
現在の身分 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 大学院生 <input type="checkbox"/> 社会人*勤務先:				

就学した教育機関:

名称	専攻課程
----	------

就学期間:

就学開始	就学終了
------	------

成果:

奨学生の学業面と職業面での目標は達成されたか。
又、これらの目標を達成する上で奨学金はどのように役立ったかを説明してください。

--

成果の持続:

奨学生は学業で学んだことをどのように生かしていますか。
社会にどのように貢献しますか。記述して下さい。

--

奨学金授与報告:

授与金額	授与実行日付
振込口座名	
受領者	
受領者が奨学生本人でない場合、その理由	

奨学金資金内訳	① 地区補助金	円
	② クラブ調達資金	円
	③ その他の資金	円
	授与金額 (①+②+③)	円

奨学金の使用:

奨学生の支出明細報告と領収書を添付して下さい。(自由書式で作成)
下表の支出額内訳は大内訳記載として下さい。

授与金額	円
支出額	円
合計	円
差引残高	円

確認署名:

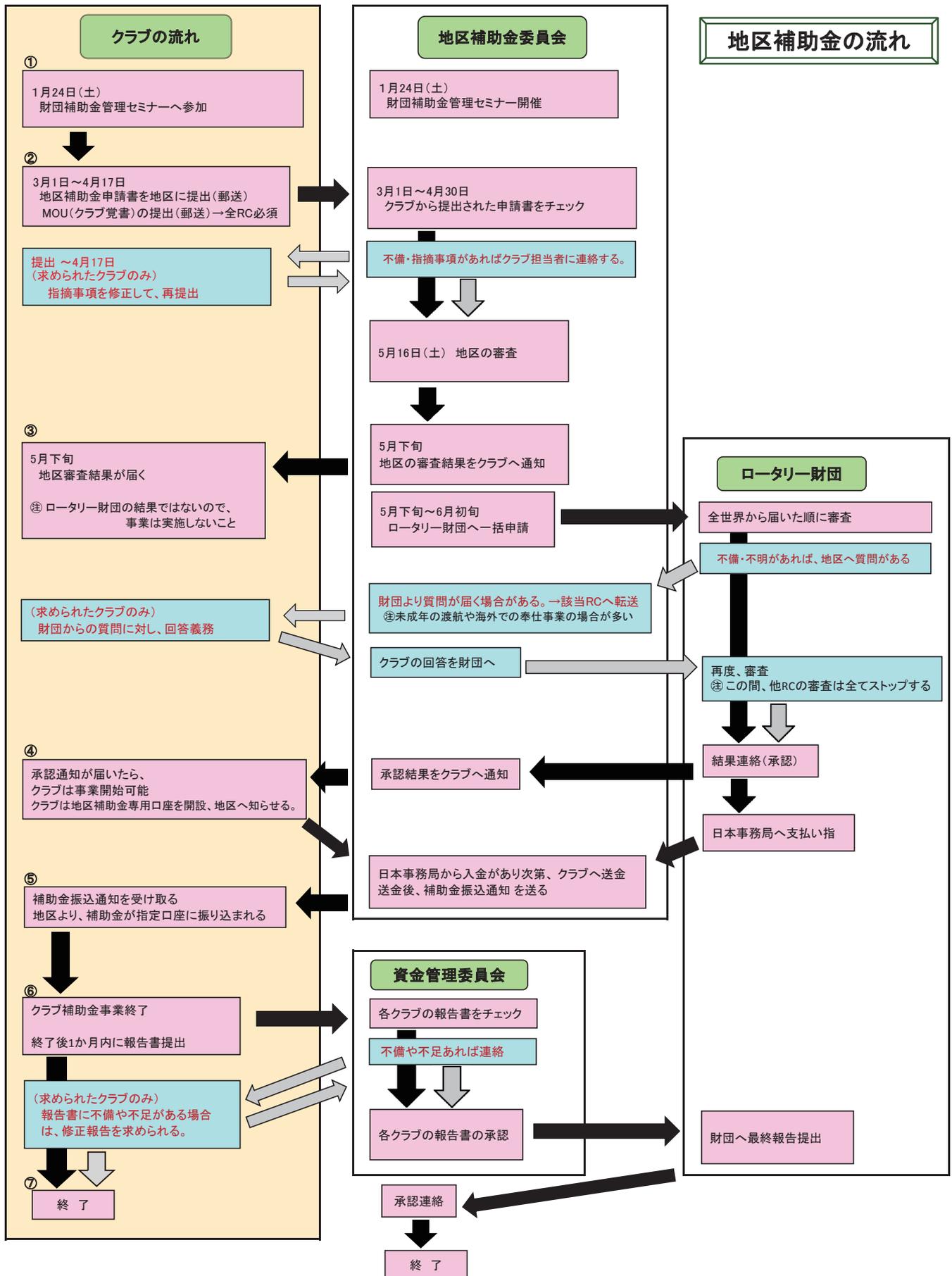
2026-27年度 _____ ロータリークラブ会長として、

私は、本報告書のすべての記載事項が真実であり、正確であることを確認いたしました。

氏名

署名

日付



2025-26年度

地区補助金運用状況

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
1	京 都 西 RC	手洗い場等設置及び衛生習慣啓発事業	カンボジア国の電気が通っていない地域の小学校に、手洗い場、タンク、井戸ポンプを設置し、手洗いと歯磨きの衛生教育を行う。安全な水の安定供給と感染症予防を図り、子どもから地域全体の健康と衛生環境を向上させる取り組み。 手洗い場設置費、水槽とソーラーポンプシステム設置費など。	\$4,145
2	五 個 荘 能 登 川 RC	滋賀レイクス バasketボールクリニック &Rotaryclub cup	東近江市ミニBasketボール少年団を対象に、子ども達に夢や希望を与え、今後の成長の糧になることを目的としてBasketボール教室を開催する。 会場費、クリニック費、参加者記念品Tシャツ制作費など。	\$3,695
3	宇 治 鳳 凰 RC	餅つき大会	京都府宇治市の障がい者作業所の生徒や父兄、職員を対象に餅つき大会を開催し、日常とは違う楽しみを提供して関係者間の交流を深めていただく事業。ロータリアンは事前手配や当日準備を行う。蒸し器、臼、食材購入費など。	\$1,500
4	舞 鶴 RC	舞鶴ロータリークラブ杯 舞鶴市民剣道大会	舞鶴市の小学生、中学生、高校生、地域住民を対象とした剣道大会を開催し、心と体の健康促進をする事業。ロータリアンは会場設営や当日の運営を行う。大会参加費の補助、参加賞購入費。	\$882
5	あ す か RC	いざ世界へ『飛鳥・藤原の宮都』2026年世界遺産登録応援プロジェクト	世界文化遺産候補としてユネスコへ推薦書を提出中の「飛鳥・藤原の宮都」をアピールするため、地域の子どもや住民を対象に、あすかの地名を使っている『あすカルビー』等のイチゴを使ったイベントを開催する。会場音響・映像設備費、ドローン撮影費、イチゴ購入費など。	\$6,434
6	京 都 北 RC	絶滅危惧種の動物を知ろう子ども塾 ～飼育員さんのお仕事も学んじやおう～	京都市内の小学生(3年～4年)親子を対象に、京都市動物園にて園内の絶滅危惧種10種について学び、普段は見ることができない飼育員の仕事を学ばせ、危惧種を始め動物を育む園側の取組と、命の尊さや命を育むことの苦勞を理解してもらおう事業。また、近年の酷暑から動物を守る為、キリン舎に日除けを寄贈する。日除け設置一式、入園料、広報チラシ制作費など。	\$4,671
7	敦 賀 西 RC	子ども達の笑顔を繋げる人形劇公演と食堂ネットワークへの食材支援	敦賀市内で活動する4つの子ども食堂を利用する子供たちや保護者、運営団体との交流や支援を目的とする。食材の支援だけでなく人形劇を開催することで、子どもたちの感情表現や共感力を育むことを目的とする。人形劇団出張講演費、会場費、支援食糧購入費など。	\$3,027
8	京 都 さ く ら RC	こどもたちと楽しむ演奏会&楽器演奏体験	京都市内の複数の児童福祉施設の児童を対象に、子供達の情操教育・将来の可能性を広げることを目的として、音楽コンサート並びに楽器演奏体験を開催し、その様子をDVDにして後日参加者に配布する。会場費、演奏料、楽器レンタル費、映像撮影費など。	\$3,132
9	や ま と 西 和 RC	文化遺産を守る未来の後継者を育てよう	奈良県内の高校生達と、奈良県内のユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所に所属するアジア太平洋各地で活躍する世界遺産専門家が交流する機会を提供し、お互いの国の歴史や文化について発表しあい、伝統文化や芸能の交流をして国際理解を深め、異なる文化や価値観を理解することを目指す事業。会場費、講師謝礼、通訳謝礼など。	\$4,145
10	大 和 郡 山 RC	地域の子供たちと楽しく農業を知ろう	様々な事情があり親と生活ができない子供たちに、農法見学や農業体験をする機会を提供し、地元の農業や食文化の発展、農業の大切さを通して食育をする事業。農業公園入場料、利用費、参加者保険料など。	\$1,941
11	大 津 RC	子どもの体験格差解消事業	周りの環境によって子どもが得られる体験に格差が生じる、いわゆる「体験格差」という言葉が目立っている。 地域で子どもの居場所づくりに取り組むNPO法人と連携を図りながら、家庭における様々な事情を持つ子ども達に機会を作ることで体験格差を解消し、健やかに成長出来るよう支援する事業。 バス貸切費用、昼食弁当購入費、施設利用料など。	\$3,056
12	福 井 あ じ さ い RC	児童養護施設の子ども達とアドベンチャーパーク・パーベキューで交流	児童養護施設の児童約40名とロータリアンが野外アドベンチャーパークで交流し、BBQを体験してひと夏の思い出してもらおう事業。児童養護施設を地域社会に認知して理解してもらうために新聞等に取材依頼する。施設入場料、貸切バス代金、参加者保険料など。	\$3,526

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
13	大 和 高 田 RC	「高田を再び元気に」プロジェクト	大和高田市民の大きな財産であり誇りである高田千本桜を未来につないでいくために、ロータリアン・ローターアクト・高田市職員にて桜の苗木を植樹する事業。 桜苗木購入費、支柱購入費、樹脂プレート製作費など。	\$3,714
14	奈 良 大 宮 RC	「こども食堂 春の遠足」	地域内にあるこども食堂や、同食堂に通っている/通いたいと思っている小学生及びこども食堂関係者を対象に、こども食堂につながる小学生を一人でも増やすことを目的として、小学生及び関係者を農業公園に招待して、レクリエーション、BBQ、いちご狩りを開催し、ロータリアンと交流する事業。貸切バス代、公園入園料、BBQ体験と食材購入費、参加者保険料など。	\$4,502
15	高 島 RC	高島の『食』を育て、『居場所』を守り、『笑顔』を作る	市内の小・中学生を中心に農業体験を実施して、安心・安全な地場産食物について学ぶ。 また、収穫したお米や野菜を市内のこども食堂、こどもやお年寄りの居場所づくり活動をしている団体へ提供する。 田畑の管理費、イベント設営費、チラシ広告費など。	\$4,533
16	敦 賀 RC	美浜町、若狭町の小学校への優良図書の贈呈	地域の小学校の児童の読解力の向上、読書の楽しさを感じさせるための環境整備を支援するために優良図書を贈呈する。ロータリアンは、図書の選定や目録作成、小学校への配布と図書の内容を児童向けに説明、寄贈後は活用状況のモニタリングなどを行う。図書購入費。	\$3,939
17	福 井 南 RC	桜、「地域に豊かな語らいを！」	地域住民に憩いの場として開放されている広場に、子ども達や学生と一緒に桜の木の植樹を実施する。桜の木購入費、機材運搬費、大型バス貸切費用など。	\$3,414
18	京 都 洛 東 RC	【ありがとうロータリー 未来へすべてに感謝～SDGsをスポーツを通して学び、衛生を保つ地域の地産地笑～】	児童養護施設や児童館に通う児童と一緒に清掃活動をしながらか、地域に流れる川の水域環境学習やサッカー教室を実施し、バーベキューで食育することを目的とした事業。会場費、食材購入費、参加者保険代など。	\$2,476
19	大 津 中 央 RC	豊かで美しい琵琶湖を未来へつなぐプロジェクト～自然と共生する社会に向けて	琵琶湖の水環境や水辺の生物に関心を持ち、環境保全の意識を高めてもらえるように、子ども達を対象に湖上での環境学習や、移動水族館で琵琶湖の在来魚を観察してもらう事業。環境学習船費用、移動水族館設営費、広報ポスター・チラシ制作費など。	\$3,320
20	亀 岡 RC	『視覚障がい者に対する理解と盲導犬の役割』	亀岡市内の小学生高学年を対象に、視覚障がい者への理解と盲導犬の役割を学ぶことを目的として啓発イベントを開催する。会場費、講師派遣費、アイマスク購入費、点字体験材料費、広報チラシ制作費など。	\$2,457
21	長 浜 東 RC	未来に咲く平和の桜プロジェクト(仮)	長浜市、米原市の小学生及びその保護者を対象に、自然や環境保全に関心を持ち、郷土愛を育む機会を創出することを目的として、長浜市内の公園に桜の植樹をする。 桜苗木購入費、宣伝広告費、講演プログラム活動費など。	\$3,864
22	綾 部 RC	みんなの防災体験	災害時の地域住民の安全と快適性を確保するため、市民を対象に防災イベントを実施する。災害時に迅速な炊き出しを行えるよう移動式のかまどを寄贈し、イベント時に機能を体験してもらう。移動かまど購入費。	\$2,026
23	京 都 洛 中 RC	能登半島地震『心の復興』支援プロジェクト～私が知らない私に会いに行こう!!～	能登半島地震で被災した高校生を京都市へ招待し、京都市内の高校生と共にワークショップで学び、将来に希望と自信を持ってもらう『心の復興支援』を目的とする事業。会場費、広報チラシ制作費、講師費用、保険料など。	\$4,802
24	京 都 紫 野 RC	船岡山公園のラジオ塔再生とラジオ体操活動の周知による新たな地域の交流と活性化	地元船岡山公園内に90年前に設置された歴史あるラジオ塔の周辺整備をして、往時の外観をとりもどし安全性を高め、ラジオ体操イベントを開催し、幅広い世代が交流することを目指す事業。ラジオ塔補修工事費、解説銘板製作費。	\$3,601
25	彦 根 南 RC	わたSHIGA輝く国スポ・障スポを盛り上げるための彦根駅西口柱巻看板装飾設置事業	滋賀県で開催される「国スポ・障スポ」に際し、彦根市を訪れる選手や関係者、観光客を歓迎するために多くの乗降客が利用する彦根駅にロータリアンが企画した看板を製作、設置する事業。看板製作費、取付設置作業費、解体・撤去作業費など。	\$2,907
26	京 都 平 安 RC	障がい者スポーツ体験会	障害者と一緒に障害者スポーツ(フロアバレーボール)を体験し、交流会などを実施する。障がい者スポーツを体験することで、地域住民が障がいへの理解を深め、偏見や差別を減らすきっかけとなることや、障がい者自身や周囲の人々が運動の重要性を認識し、心身の健康を維持するきっかけとなり、向上心や活力が生まれることを期待する。 バレーボール購入費、選手ユニフォーム購入費、審判人件費、記念品購入費、参加者昼食代など。	\$3,100

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
27	京 都 北 東 RC	宝ヶ池公園 桜植樹プロジェクト	多数の地域住民が利用する宝ヶ池公園内に桜の木を植樹する。植樹セレモニーには地域住民も招待し、呈茶をふるまってロータリアンと交流を図る。ロータリアンは会場設営・撤去・清掃を行い、当日来場者に茶道の歴史や所作の説明、席の誘導などを行う。桜木購入費、植栽および土壌整備費、呈茶席人件費、呈茶会場費など。	\$3,376
28	奈 良 東 RC	ラオス・ヴィエンチャン近郊小学校貯水タンク設置事業	ラオス国ヴィエンチャン近郊小学校で頻繁に起こる断水による不衛生状況改善のため、断水時用の貯水タンク及び流し台を設置、寄贈する事業。安定した水道供給の下、小学生や教職員の衛生状況が向上し、健康に学校生活を送ることができる。ロータリアンは現地で小学生に衛生に対する啓蒙活動を行う。貯水タンク・流し台等購入・運搬・設置費など。	\$4,352
29	東 近 江 RC	未来につなげる支援の『わ』	居場所のない子ども達や要支援の家庭の子ども達を対象に、地元のボランティア団体と高校と協力し、子ども食堂を開催する。ロータリアンは食材調達、袋詰め、食品配布など、出張食堂の支援と設備の取付を実施する。食材費、調理家電購入費など。	\$3,752
30	福井フェニックス RC	フェニックスフェスティバル in 珠洲市	2024年に震災と水害による大きな被害を受け、特に災害復興が遅れている石川県能登地方の珠洲市の市民生活を支援するため、専門分野を持つクラブ会員(医師・弁護士・建設関係等)が相談ブースを設けて市民の問題解決に尽力したり、珠洲市の発表者や福井のパフォーマーのステージを設け、子どもから高齢者に笑顔を届けるショーを開催する事業。会場費、照明・音響設備費、バルーンショー費用、スタッフ交通費(貸切バス代)、子供向け遊具レンタル費など。	\$3,639
31	京 都 南 RC	南の風コンサート2026	京都市内の小中学校対象学年および保護者を対象に、フルオーケストラの演奏を設備の整ったホールで聴く体験をして音楽で感受性を高め自己表現の方法を学んでもらい、これをきっかけに本格的な演奏家を志す子供達が育つことを期待する事業。オーケストラ演奏出演費、会場費、募集チラシ代、申込システム準備費など。	\$4,896
32	京 都 洛 南 RC	「第2回 京都洛南ロータリーカップかるた大会」	地域の子ども達を対象に、伏見区の名所旧跡を表現した「かるた」を使用したかるた大会を開催する。自分たちの住む郷土に対する愛着を育み、将来の地域発展に寄与する人材育成を目的とする。大会の運営にはロータリアン・地元大学生や地域住民ボランティアなど、多くの地域の方に関わっていただく。大会告知ポスター・チラシ印刷代、かるた購入費、参加者購入費、参加者飲料・弁当代など。	\$4,371
33	京 都 伏 見 RC	みんな集まれ!呉竹祭り	地域内の障害を持つ児童が通う支援学校に、心身の成長と健康促進の一助となる小型プールを寄贈、ロータリアンと児童が一緒に組み立てる。また、大型絵本も寄贈し、ロータリアンによる読み聞かせをするなど交流を図る事業。プールおよびプール用マット購入費、大型絵本購入費、傷害保険料など。	\$3,667
34	彦 根 RC	「フリースクールに集う子ども、大学生を対象にしたびわ湖清掃ならびクルージング」体験事業	市内のフリースクールの子ども達と地元のヨット競技者である大学生、ロータリアンが琵琶湖の清掃活動を行う。後日、ヨット教室を複数回開催し、子ども達がクルージングを通じて、琵琶湖や地元で郷土愛を持つことを期待する事業。ヨット及び部品購入費、損害保険料。	\$3,358
35	武 生 府 中 RC	「夢あるまちづくり絵画展 (子供たちとともに未来へ)」	越前市内のこども園の子ども達に、地元の伝統工芸・越前和紙を使用した絵(園児が描く「夢」)を作成してもらい、絵画展を開催。カレンダーも作成し、広く市民に越前和紙の素晴らしさをアピールする。越前和紙購入費、カレンダー製作費、表彰景品(保育教材・絵本)購入費など。	\$4,014
36	近 江 八 幡 RC	「近江八幡の魅力を未来へ繋ぐ」プロジェクト	地域の児童・子どもたちに地域への愛着を育むことを目指し、高校生が近江八幡市の魅力を伝えるインタラクティブ型プロジェクトマップコンテンツを作成、伝える技術の習得を目的としたイベントを行う。ロータリアンはフィールドワークで高校生を引率し、寺・神社・西の湖など郷土の歴史を学んでマップに活かしてもらう。また、完成したコンテンツを市内幼稚園・小中学校・コミュニティセンターで発表してもらい、地域活性化を目指す。プロジェクト・スピーカー・三脚など機材購入費、貸切バス代、広報ポスター・チラシ印刷代、イベント損害・賠償保険第など。	\$4,145
37	長 浜 RC	未来に継続できる仕組みをつくらう ～「モミジの森」造成事業 市民記念植樹式～	市民の憩いの場である公園にモミジを多数植樹し、周辺をウォーキングするなど健康寿命の促進に繋がることを期待する事業。あわせて健康遊具ベンチなども寄贈する。モミジ購入費、植栽および植樹工事一式、健康ベンチ製作・設置費、広告宣伝費など。	\$3,376

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
38	園 部 RC	郷土愛創生プロジェクト	地元高校生が、南丹市の伝統文化を再確認し後世に引き継ぐため、地元の文化財や名所、伝統文化を紹介する動画をQRコードで作成し、1枚の看板に掲載して、観光客に歴史や文化をアピールする事業。また、ロータリアンと高校生が看板を設置するイベントも開催し、広く市民に周知する。看板製作・設置費、イベントブース設置(テント・机・イス運送)費、学生弁当・飲料代など。	\$3,189
39	京 都 イブ ニング RC	暮らしランプ支援プロジェクト	長岡京市の障がい者施設にコーヒー粉自動計量器を寄贈。ロータリアンと障がい者メンバーたちがコーヒーをカップリングし、オリジナルブレンドをつくるワークショップを開催する。ワークショップの模様を広く広報し、地域の一般市民に施設の取り組みを理解していただき、障がい者に優しい街づくりの一助となることを目指す。コーヒー卓上型自動分包機 購入費、コーヒー豆購入費。	\$938
40	京 都 桂 川 RC	「京都桂川ロータリークラブ杯 パラスポーツ大会(ポッチャを楽しむ会)」	地域の障がい者団体や支援学校に通う方を対象に、パラリンピック競技である「ポッチャ」の競技会を主催する。年齢や性別、障がいの程度に制限されずに誰でも参加して楽しめる競技を通じて、つながりの大切さと「ポッチャ」の啓蒙・普及に寄与する事業。同時に、障がい者就労支援事業所の授産製品を試供し、障がい者就労支援への理解につなげることを目指す。会場費、会場設営費、広報チラシ作成費、審判・手話通訳者利用費、保険料など。	\$2,249
41	京 都 洛 西 RC	チャリティーコンサート2025-26	ロータリアン、インターアクター、ローターアクターと京都市少年合唱団によるチャリティーコンサートを開催し、地域内の視覚障がい施設の利用者を招待、一般市民とともに音楽を楽しんでいただく。会場費、合唱団出演料、楽器運送費、パンフレット作成費など。	\$3,057
42	櫃 原 RC	大和舞踏祭	子供たちの向上心や自主性を育み、関係する多くの人の協調性を生み出し、市民に新しい文化に触れて頂く機会として、低年齢から高校生を対象にしたダンス大会を開催する。同時にフードイベントを並行して開催し、関心のない方や世代間を超えた文化の理解促進を図る。会場費、会場設営費、出演者弁当、地元情報誌掲載料など。	\$7,504
43	奈 良 RC	おいでよ! 冒険の森! 2025	生活が困難なひとり親家庭の親子を対象に、普段体験できない野外の遊び場でレクリエーションの専門家やロータリアン、大学生、RAC、IACなど様々な人と交流、協力する体験をすることで、親子の思い出をつくっていただき、今後の生きる活力にしてもらう事業。貸切バス代、施設使用料、広報チラシ制作費、野外プログラム体験費、参加者傷害保険料など。	\$4,633
44	やまとまほろば RC	交通安全啓発プロジェクト	地域住民を対象に街頭で交通安全啓発活動と、幼稚園児を対象に交通安全教室を開催する。反射付きバッグ制作費、啓発グッズ製作費など。	\$1,594
45	武 生 RC	こどもと障がい者のためのコンサート ～みんなのコンサート～	長年続く『武生国際音楽祭』の開催に合わせて、障がい者、幼児・小学生と保護者を対象としたコンサートを開催し、日ごろ接する機会の少ない一流演奏家の音楽を楽しむ機会を提供、情操教育の一助となることを目的とする。演奏家出演料、会場費、会場設営費、広報チラシ・ポスター製作費など。	\$2,026
46	びわ湖八幡 RC	みんなでつくる音楽祭	地域の全小学校を参加対象として、他校の小学生と交流しながら小学生自身が作り上げる演奏会を開催する。ロータリアンは、演奏会開催を目標として練習から本番まで子ども達自身が手掛ける事業の見守りや保護者説明会の開催、当日楽器運搬などを行う。会場費、施設付帯設備使用料、募集・告知チラシ制作費、楽器レンタル代、レンタカー代など。	\$3,883
47	湖 南 RC	国スポ湖南市観光発信	2025年9月に滋賀県で開催される国民スポーツ大会及び障害者スポーツ大会に来られる参加者や関係者に地元足湯の体験と、スポーツと食をテーマに小学生から保護者に食育の大切さを学んでもらう事業。足湯体験ブース設営費、地元食材を使用したおにぎり等購入費。	\$3,564
48	大 津 東 RC	ロータリークラブによるYoutube番組の制作・発信事業	申請取り下げ(25.4.25)	\$0
49	長 浜 北 RC	循環型奉仕で誰一人とり残さない社会を目指そう!	地域のさまざまな団体が所有するのぼり旗を回収し、市内の障がい者が働く作業所にてリサイクルのナップサックを作成してもらい、地域の小学校へ寄贈を行う循環型奉仕を目的とした事業。のぼり旗クリーニング費、ナップサック作成費、広報活動費。	\$1,485
50	大 野 RC	芝生化グリーンプロジェクト ～緑の園庭を裸足で走り回ろう～	子ども園の庭を芝生化するプロジェクト。維持管理を専門業者に頼ること無く、こども園と保護者、ロータリアンの手で芝生化することにより、子どもたちが元気よく裸足で運動ができる環境を整備し、健全育成を地域の方々と自分たちの手で作り上げることができる。芝生苗購入費・肥料購入費・散水設備設置費、芝刈り機購入費など。	\$3,545

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
51	八 日 市 南 RC	ラチーノ学院 食生活支援事業	幼児から18歳のブラジル人の子ども達が通う地域内の準学校法人の食生活の充実を図ることを目的として、地元農家との関係を築き、ロータリアンと一緒に畑地の整地造成を行い、将来的に生徒たちが野菜の育成を自ら行うことを支援する事業。畑土造成費、獣害対策費、苗代費など。	\$3,995
52	京 都 中 RC	佛教大学車椅子バスケットボール部支援事業	健常者・障がい者に関わらず、車椅子バスケットボールという経験を共有することで、「障がい者スポーツ」という概念から外し「生涯スポーツ」「競技スポーツ」としてバリアフリーやノーマライゼーションなどシームレスな社会の実現を目指し普及させることを目的に、市内大学の車椅子バスケットボール部へ競技用車椅子を寄贈する。ロータリアンは啓発活動や競技大会の開催支援を行う。競技用車椅子・部品購入費、資料作成・印刷費。	\$2,870
53	福 井 北 RC	宇宙AIロボット開発講座	福井県内高校生を対象に、今後発展が見込まれる宇宙産業及びAI技術分野で活躍する人材に必要な資質・能力を、産学官が連携して育む事業。計3回開催を予定している各講座には、3～4名の東京大学大学院生を招聘し様々な技術指導を行う。ロータリアンは各講座において高校生とディスカッションや、プレゼンテーションの見学・アドバイスと、最終回の審査員として参加、当日運営を行う。講師旅費・宿泊費・弁当購入費など。	\$3,564
54	亀 岡 中 央 RC	手作り木製プランター設置事業	令和8年秋に全国都市緑化フェアin京都丹波が亀岡でも開催されるのを契機に、自分のいる場所の緑化意識を地域の子どもたちや市民に持ってもらうことを目的として、地元養護施設の子どもたちとロータリアンと一緒に、手作り木製プランターを制作し、亀岡市内各所に設置する。木製プランター購入費、プランター修飾シール・スプレー購入費、土・花の購入費。	\$2,532
55	京 都 嵯 峨 野 RC	子供達と過ごす秋まつり	児童養護施設に入所している子供達や施設職員を対象として、スポーツ教室や屋台など秋祭りを開催する。日頃、大人と交流することの少ない子供たちがロータリアンとの交流で、少しでも大人との接し方や会話の仕方などを経験をしてもらい、子供たちの成長の糧となることを期待する。グラウンド使用料、キッチンカーレンタル代、おやつセット購入費、イベント保険料など。	\$3,264
56	京 都 西 南 RC	京都西南ロータリークラブ Presrnts Fare well Concert 2026	音楽やダンスで研鑽を積みながらもコロナ禍などで発表の機会を失った京都府内の中学生(卒業の3年生含む)を対象に、音響環境の整ったコンサートホールで発表会を開催し、保護者や一般府民、音楽関係者に披露する事業。ロータリアンは当日までの企画と当日準備、運営を行う。会場費、会場設備使用料、チラシ・プログラム・チケット製作費など。	\$1,482
57	桜 井 RC	図書館へ行こうプロジェクト	桜井市立図書館に隣接する小学校の金管バンドによるコンサートを図書館で開催し、同校に楽器を寄贈する。また、図書館で絵本作家の講演会を実施し、図書も寄贈する。子どもたちだけでなく保護者や近隣の住民を始めとする市民が図書館に足を運ぶ回数が多くなることにより、図書に親しむ機会が増え、活字離れの歯止めの一助となることを期待する。ロータリアンは広報活動やイベント時の会場整理など運営をする。楽器購入費、広告費、図書購入費、講師料など。	\$3,583
58	鯖 江 RC	ヘルメット着用で命を守るプロジェクト	地域の高校生を対象に、今年改正された自転車交通法の内容理解や安全な通学を目的とした体験型研修会を、学校・行政と連携して開催する。交通安全や命の大切さを伝えることを目的とする。ヘルメット購入代、講習会会場費。	\$2,832
59	京 都 八 幡 RC	八幡市の鳥、シジユウカラを通じた自然環境保全	八幡市民が、自然多い八幡市の良さを野鳥を通して気づききっかけになることを願い、八幡市で観測できる野鳥の紹介をする動画を作成、QRコードにして、石清水八幡宮に設置されている看板に掲載し、自然環境保全に関心を持ってもらう事業。また、八幡市民を対象に市鳥のシジユウカラと冬の水鳥観察会と巣箱作りや、支援学校の生徒を対象に探鳥会を開催する。巣箱キット購入費、会場費、広報チラシ制作費、アプリ制作費、参加者保険代など。	\$2,050
60	甲 賀 RC	甲賀音楽プロジェクト	音楽業界で活躍されている方や、甲賀市から多くの学生が入学する京都府高校吹奏楽部を招き、未来に向けた夢や目標を持ち日々努力することの素晴らしさを甲賀市内の子供たちの伝えることを目的とした演奏会を開催する。貸切バス代、楽器運送費、広報チラシ・パンフレット製作費など。	\$4,052

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
61	福 知 山 RC	親子きずな応援プロジェクトin福知山	福知山市内のひとり親家庭の方々を対象に、親子の絆を深めることを目的としてロータリアンとの交流イベントを開催する。ひとり親家庭の孤立感が軽減されるとともに、外出の機会が少ない親子に対して心のケアにもつながり、親子の絆が深まることを期待する。送迎バス代、パーベキュー、グラウンドゴルフ体験費、室内ゲーム(トランプなど)購入費、工作材料費など。	\$2,110
62	京 都 城 陽 RC	限りなき前進!! 世界チャンピオンとのふれあい	地元の小・中学生と地域住民を対象に、スポーツへの関心を高めることを目的として、地元出身のボクシング世界チャンピオンとのふれあいトークショーを開催する。チャンピオンの成功体験や努力、困難を乗り越える姿勢を知ること、青少年の健全な育成に良い影響を与え、困難な状況にある人々に勇気や希望を与えることを期待する。ロータリアンは事業の広報、会場設置や運営を行う。講師料、会場使用料、ステージ装飾費など。	\$3,132
63	福 井 東 RC	オレンジハートフォトコンテスト	福井県民、特に若い世代に向けて、認知症への理解を目的として、フォトコンテストの実施、認知症関連映画の上映、ライトアップなどを行う。若い世代にも情報が届くようにSNSなどによる広報もして、認知症になっても安心してこれまで通りの地域で生活できる社会になることを期待する。会場費、施設利用・設営費、映画上映費、広報チラシ・ポスター・ティッシュ製作費、募集告知広告費など。	\$2,411
64	平 城 京 RC	左京の森にむけた防犯活動	近隣の左京の森は、整備されている公園にもかかわらず街灯がなく防犯性に懸念があり、屋外時計もなく、遊ぶ子供達の帰宅時間も確認出来ない状況である。そのため、街灯と屋外時計を寄贈し、警察の協力を得て、子ども達と地域住民に向けた安全啓発と防犯講演会を開催する。街灯設置費、屋外時計購入費、防犯チラシ制作費、講演会広報費など。	\$5,534
65	京 都 東 RC	京都東ロータリークラブ 「公開文化塾～プロフェッショナルがいざなう伝統文化～」	地域の子ども、若者や幅広い世代の市民を対象に、当クラブ地区に本拠を置く世界的な伝統文化を支えるプロ技能士(能楽師、酒・食の生産者、家元、千家十職など)による講演会を複数回、開催する。参加者が京都の伝統文化の奥深い魅力を肌で感じるとともに広く伝えてゆく礎となることや、伝統文化とそれを支える技能者を知る機会となることを期待する。講師派遣料、会場費、広報ポスター・チラシ・パンフレット製作費など。	\$3,902
66	京 都 乙 訓 RC	京都乙訓ロータリークラブ杯 サッカー大会	乙訓地域で活動する低学年の小学生を対象に、サッカー大会を開催する。また、地元出身の元プロサッカー選手によるサッカー教室も行う。子供たちの心身の健全育成と大会を通じての友情と団結心を学ぶものとなること、保護者及び大会関係者にロータリークラブの活動を理解していただくことを期待する。競技場・設備使用料、講師派遣謝礼・交通費、サッカーボール購入費など。	\$3,057
67	京 都 西 北 RC	雅楽の新鮮な魅力発見 未来プロジェクト	幅広い年代の地域住民を対象に、雅楽の演奏会を開催する。弥栄雅楽会代表をはじめとする「楽辰會」による舞楽と演奏、雅楽の歴史や楽器、装束の説明などを聞き、舞台上で衣装を身に着けたり楽器にふれるなど雅楽を身近に感じ広げていただき、特に若い世代に日本文化や地域の文化活動に興味を持ってもらい、世代間のつながりを深めるきっかけになることを期待する。会場使用料、講師出演料、衣装運搬費、広報チラシ制作費など。	\$3,358
68	京 都 紫 竹 RC	障がい者スポーツが繋ぐ共生の未来	地域の小学生と教員を対象に、パラアスリートの指導のもと、車椅子バスケットボールを体験してもらう事業。パラアスリートとの交流、講演を通じて、障がいを持つ人との心のバリアを取り除き未来の共生社会の担い手として成長するきっかけとなることを期待する。 バスケット車椅子購入費、用具輸送費、講師謝礼・交通費。	\$2,363
69	舞 鶴 東 RC	舞鶴子供餅つき大会in八島	当クラブが主催する学童野球リーグに参加するチームの小学生と保護者、チーム関係者を対象に餅つき大会を開催し、ロータリアンと交流する。会場を地元の商店街で行うことで、地域活性化・親睦交流の一助になることを願い、参加者全員が協力する餅つきを体験することで、子どもたちに「食」に関心を持ってもらうことを期待する。 もち米、ガスコンロ購入費、餅つき道具セットレンタル代、広報チラシ制作費など。	\$2,731
70	福 井 RC	未来育成プロジェクト	福井県内の高校生を対象に、社会課題の解決やビジネス探究をテーマに事業計画書を作成し、そのプロジェクトを実施、検証して発表することをサポートする事業。プロジェクトの検証にはロータリークラブの専門家が支援する。高校生が地域企業や専門家と協力することで、実践的な課題解決力やコミュニケーション能力を身につけて、社会の仕組みを学び、キャリア形成に役立つ経験となることを期待する。施設利用料、広報チラシ制作費、SNS広告掲載費、講師料、講師交通費など。	\$3,470

No.	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト概要	交付額 決定 (ドル)
71	福井水仙 RC	ユニファイドサッカー トレーニングマッチ	知的障がいのある選手と健常者が共にサッカーを楽しみ、知的障がいのある人達の日頃のサッカートレーニング成果を発表する場を提供する事業。障がいの有無に関係なく同じチームでプレーすることで、相互理解が深まり、地域の人々が参加・協力することで、スポーツを通じたコミュニティづくりに貢献する。グラウンド使用料、送迎用バス貸切代、参加者昼食費、チラシ・プログラム印刷費など。	\$4,221
72	京都洛北 RC	子ども写真ワークショップ	当クラブ地域の3つの小学校の30名ほどの児童を対象に、地元の世界文化遺産である上賀茂神社の歴史とカメラの使い方を学んでもらい、写真を京都府立植物園で展示する事業。ロータリアンはカメラ指導や撮影時の安全確認、歴史教育の際の立ち合いや展示準備などを行う。カメラレンタル料、カメラ講師料、展示会場費、会場設営・撤去費など。	\$3,414
73	京都 RC	地元高校生への奨学金事業(3名)	地元高校生へ奨学金を支給する事業(3名)	\$1,874
74	福井西 RC	「子どもホスピスのイメージを変える」シンポジウム開催事業	病気と闘う子どもたちや家族の憩いの場となる「子どもホスピス」を福井で開設するために、地域社会の人々に「子どもホスピス」への理解を深めてもらうシンポジウムを開催する。ロータリアンは学校や地域企業にチラシを持参してアピールしたり、シンポジウムの準備や同時開催のワークショップの準備をする。会場費、広報チラシ制作費、講演者・司会者謝礼、ワークショップ用段ボールハウスほか資材購入費など。	\$3,883
75	京都山城 RC	外国人技能実習生支援プロジェクト	来日して概ね5年滞在の地元介護施設で働く外国人技能実習生・特定実習生を対象に、国際交流を目的とした交流会を開催する。ロータリアンが実習生達の気持ちに寄り添い励まし、日常生活の困りごとに助言をすることで、意欲的な気持ちを持って働いていただくことに繋がり、介護施設や入所待ちの高齢者、自治体へのサポートとなることを期待する。参加者昼食代、参加者へのプレゼント(冬用手袋とマフラー)購入費。	\$1,879
76	草津 RC	第5回草津ロータリークラブ杯 英語スピーチコンテスト	グローバル化が進展するなかで、子どもの頃からグローバル思考を培うため、小・中学生を対象に英語スピーチコンテストを開催し、英語の語彙力・発音・表現力の向上を図る。将来、地域の子どもたちが英語でコミュニケーションをとり、世界で活躍する姿を期待する。 会場費、会場設備使用料、表彰状製作費、参加賞購入費、広報ポスター・チラシ製作費、参加者傷害保険費用など。	\$5,859
77	栗東 RC	「栗東市中学生地域部活動サポーターズクラブ」応援プロジェクト	市内の中学校の部活動の抱える問題と課題、要望を広く市民に啓発すると共に、中学生のスポーツ・文化・芸術活動が持続可能なものとなるよう道具・用具類を寄贈する。ロータリアンは、指導者や受け皿団体の発掘や情報収集について取り組む。柔道用具一式購入費、卓球用具一式購入費、野球用具一式購入費。	\$3,592
78	丸岡 RC	タイ国技能実習候補生及び実習生・日本高校生の交流事業	タイ国において、福井県介護人材育成プロジェクト事業として日本語学習を履修している高校生および既に技能実習生として就業している複数名と、クラブ地区内の2校の高校生による交流会を開催し、相互理解を深め、青少年達の成長・今後の活動に活かすことを目的とした事業。食文化交流会の食材費、地域文化交流のそば打ち体験費、歴史・文化施設入場料、歓送迎会食事費用など。	\$2,138
79	京都東山 RC	カルタで山科の名所旧跡を学ぼう!(カルタ・ウォークラリー式フォトコンテスト)	地域13学区の小学生を対象に、山科の名所や歴史を題材として制作されたカルタを使ったカルタ大会を開催し、地元の歴史や名所を学んでもらう事業。関連してフォトコンテストを行い、カルタ内で登場する山科の名所へ撮影に行き、実際に歴史に触れながら学びを深めてもらう。カルタ制作費、参加者昼食費、広報チラシ・ポスター・冊子制作費、看護師謝礼・交通費など。	\$3,489
80	京都朱雀 RC	子どもから高齢者までごちゃまぜが実現する持続可能なまちづくり	京都市南区に点在する社会福祉事業支援拠点を結び、当事者や当事者を取り巻く支援者も含め多様な人々が主役となるイベントやツールを企画し、地域をあげたネットワークをつくる事業。多様な人々が交流することで相互理解を深め、新たな交流ができるきっかけとなることを期待する。広報チラシ制作費、講演会場費、会場設備使用料、壁画デザインワークショップ費用など。	\$4,052
計	79 クラブ			\$266,115

2650	管理費(3%)		63
------	---------	--	----

\$266,178

第5章 グローバル補助金

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。グローバル補助金事業に相応しいかどうかは第3章「財団補助金の選び方」で確かめてください。

1. 活動の種類

グローバル補助金は、次のような活動に使用できます。また人道的プロジェクトと職業研修チーム（VTT）の活動を組み合わせる活動も可能です。

- ・人道的プロジェクト：地域社会のニーズに取り組み、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすプロジェクト。
- ・職業研修チーム（VTT）：専門職業に関する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣するプロジェクト。
- ・奨学金：大学院レベルの留学。

2. 申請書の提出にあたってのヒント

しっかりとしたプロジェクト計画とグローバル補助金の申請書を仕上げるために、計画の早い段階から地元の専門家と相談しましょう。申請書が承認されるには、プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動で、以下の要件が明確に記載されていなければなりません。

- ・持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後にも活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- ・測定可能な目標を持っていること
- ・ロータリーの重点分野のいずれかに該当すること
- ・地域社会のニーズに応えること。人道的プロジェクトまたは職業研修チームを支援するためにグローバル補助金を申請するすべてのクラブと地区は、まず地域社会の調査を実施し、調査で学んだことを基にプロジェクトを立案しなければなりません。
- ・ロータリー会員と地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- ・補助金の「授与と受諾の条件」第8章資料に記載された要件を順守すること

地区リソースネットワークの利用

ロータリーの重点分野、グローバル補助金、プロジェクト計画などの分野に詳しい地元のロータリー会員が最も頼れるリソースとなるでしょう。既存のニーズやプロジェクトの計画に対して、補助金を利用できるかどうかという形で申請が始まればよいのですが、「グローバル補助金を申請してみたい」、「国際的奉仕プロジェクトをやりたい」という意欲はあるが、「何をしてよいかわからない」、「ニーズも相手もない」、というケースも多いと思います。

支援を求めているプロジェクトやクラブを探すには、

〈My ROTARY〉 → 〈情報&リソース〉 → ロータリーショーケースのプロジェクトが閲覧可能、世界のグローバル補助金事業の協同提唱者募集を国別で見つける事が出来ます。

又は、当地区グローバル補助金委員会へガバナー事務所を通じてご相談ください。地区内のクラブ皆様のお役に立てる様に、グローバル補助金委員会一同、事業提案をお待ちしております。

3. モニタリングと評価

プロジェクトのモニタリングと評価はグローバル補助金プロジェクトにおける重要な要素です。適切なモニタリングと報告を行うことによって、ロータリー補助金が地域社会にとって好ましい変化をもたらしたことを確認できます。

持続可能性

ロータリーにとって「持続可能性」とは、補助金プロジェクトの終了後も、現地の人々が自力でニーズに取り組めるよう支援し、長期的な解決策をもたらすことを意味しています。

地域社会のニーズと強みを調査する

地域社会のニーズを調査し、地元の人々の価値観や文化を考慮してどのような活動ができるか検討する。



恩恵を受ける人々に関与してもらう

プロジェクトの成果を長期的に保つため、現地でリーダー的役割を引き受けてくれる人を探す。



研修、教育、呼びかけを行う

人々が自力でニーズを満たし、知識やスキルを引き継いでいけるようにする。



現地で物資を調達する

可能な限り、設備や物資、テクノロジー機器は現地で調達する。



現地の資金源を確保する

地元の自治体、政府、病院、企業、その他の団体から資金を確保する。



モニタリングと評価を欠かさない

明確で測定可能なプロジェクト目標を立て、プロジェクトのデータを集める方法を定める。



(参照) グローバル補助金ガイド

4. 重点分野の基本方針

2023年4月より各重点分野の基本方針が新しくなりました。グローバル補助金を申請するグローバル補助金の申請は7つの重要分野の中で1つ以上の分野のプロジェクトでなければなりません。

- a) 平和構築と紛争予防
- b) 疾病予防と治療
- c) 水と衛生
- d) 母子の健康
- e) 基本的教育と識字率向上
- f) 地域社会の経済発展
- g) 環境

以下7つの重要分野の基本方針の全文は下記のリンクをご覧ください。

各重点分野の詳細については、下記QRにて最新情報が閲覧可能です。



マイロータリーでは、ログインした後→ロータリー補助金センター→右上のリソース→重点分野の基本方針を選択、各分野の最新情報が閲覧可能です。

a) 平和構築と紛争予防 (Peacebuilding and Conflict Prevention)

ロータリーは、地元や海外の地域社会における紛争転換を促す活動を通じた、平和構築と紛争予防に関連する研修、教育、実践を支援します。

この重点分野の目的と目標 ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって平和構築と紛争解決を助長するのを支援します。

1. 紛争を転換し、平和を築くための個人および地域社会の能力の向上。
2. 平和教育、平和のためのリーダーシップ、および争いの予防と解決に関する地域社会の人びとへの研修
3. 影響を受けやすい人びとの社会統合を支援する奉仕活動の実施
4. 天然資源を管理する最善の方法を特定するための対話および地域関係の改善
5. 平和構築と紛争解決に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。



b) 疾病予防と治療 (Disease Prevention and Treatment)

ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動を支援します。この分野のプロジェクトは、医療 サービスへのアクセスの改善および拡充、医療機器の提供、または医療従事者の研修によって医療システムを強化します。

この重点分野の目的と目標 ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって疾病を予防し、治療するのを支援します。

1. 地元の医療従事者の能力向上。
2. 伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生と影響を減らすための、疾病予防・治療プログラムの推進。
3. 医療システムの強化。
4. 臨床治療および身体障がいのためのリハビリの提供。
5. 疾病予防と治療に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。



c) 水と衛生 (Water, Sanitation, and Hygiene)

ロータリーは、2030年までにすべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保するという国連の「持続可能な開発目標」の目標6に沿う支援です。ロータリーは、安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と研修を支援しています。また、水と衛生のプロジェクトの支援は、グローバル補助金 地域社会調査の結果フォームは、2022年8月質問が追加されています。事業タイプは以下のような支援です。

●水供給

水供給、貯水、浄水、水処理、および水源保護に焦点を置いたプロジェクトを含む、安全な飲み水へのアクセス改善。支援先の水源には、水道水、掘削井戸、保護された掘り抜き井戸、保護された泉、雨水、包装された水が含まれます。低所得者のための住宅や非公式居住区に住む人びとへ、改善された飲料水源を支援する事も支援内容として重要です。安全な飲料水を利用できるようにするために、塩素処理、ろ過、または太陽熱消毒による家庭用水処理と安全な水を提供する事業を支援します。

●衛生設備へのアクセス改善

衛生設備インフラや糞便汚泥の管理、処理、処分を通じて、人間の排泄物を収集、処理、処分支援する事業。手洗い、排せつ物の安全処理、安全な水の貯蔵、月経時の衛生など、健全な習慣を推進する教育の提供する支援事業。

●学校での水プロジェクト

女子生徒、男子生徒、職員の数を把握。水（生徒一人当たりのリットル量）、衛生（男子生徒50人当たりトイレ一つと小便器一つ、女子生徒25人当たりトイレ一つ、など）、衛生設備（石鹸を備えた手洗い場が即時に利用できることなど）に関する国の基準が満たされているかどうかを評価し、改善できる点を支援する。



d) 母子の健康 (Maternal and Child Health)

ロータリーは、母子の健康を改善し、新生児、5歳未満の子ども、母親、および出産年齢の女性の罹患率と死亡率を削減する、さらにより質の高い医療へのアクセスを改善することを目的としています。事業タイプは以下のような支援です。

●予防接種プロジェクト

予防接種は、母子医療の重要な部分であり、伝染病の発生を予防・管理するにはワクチンが極め

て重要です。グローバル補助金では、その国の法律に基づいた予防接種を支援します。

- 移動医療車と移動診療所

基本的な医療サービスを利用できるのは世界人口の半数以下です。新型コロナウイルスの流行、自然災害、紛争などの大規模な混乱は、医療従事者、医療施設、その他のサービスへのアクセスを低下させています。医療サービスを提供する移動診療所または医療設備を備えた車両により、こうした障壁のいくつかに取り組むことができます。

- 栄養プロジェクト

妊婦の栄養状態、および出産後に母親と乳幼児が摂取する栄養は、子どもの発達と成功に影響します。栄養プロジェクトは、栄養失調に対処し、栄養失調による母子の死亡または障がいの治療や軽減を含む取組みの支援。

e) 基本的教育と識字率向上 (Basic Education and Literacy)

ロータリーは、すべての子どものための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援する。事業タイプは以下のような支援です。

- 成人の識字率の向上

学校と地域社会の図書館は、多くの場合、識字の推進と向上において切実に必要とされているリソースです。ただし、研修を受けた職員や正式なプログラムなしで図書を提供しても、必ずしも長期的なインパクトにはつながりません。専門家や研修を受けたボランティアを図書館に配属し、図書を購入する際には読み手の文化、言語、年齢を考慮に入れることが重要となります。

- 放課後プログラムまたは個別指導プログラム

個別指導プログラムは、特に資格のある個別学習指導員（チューター）がプログラムに起用されている場合、生徒の成績に大きなインパクトを与えることができます。補助金によるプログラムの主な目標は、学業成績の向上とする必要があります。

- 言語研修

その国の公用語で読み書きができないことにより、学び、コミュニケーションを図り、社会に出ることが難しくなります。言語研修は、移民や難民の多い地域社会に役立ちます。国の教育当局が義務づけている場合、言語プロジェクトを学校で実施することができます。

f) 地域社会の経済発展 (Community Economic Development)

ロータリーは、人々が生活と地域社会の経済にロータリーは、貧困地域や十分な支援が得られない地域で測定可能かつ長期的な経済発展を創出することで、人びとと地域社会が貧困を緩和していけるよう支援します。事業タイプは以下のような支援です。

- 貧困の課題がある地域社会への、金融サービス(マイクロクレジット、モバイル・バンキング、貯蓄、保険を含む)へのアクセスの提供

- 地域社会の経済発展に関連する研修（起業、地域社会でのリーダーシップ、職業スキル、金融知識など）の提供。地域経済に持続可能な変化をもたらすために、現地のリソース、人びと、スキル、専門知識を取り込み支援します。

- 小規模ビジネス、協同組合、または社会的企業に加え、貧しい地域社会のための収入創出活動（雇用を提供する地域全域の事業など）の開発支援

- 自給自足農家や小農家のための農業開発（能力向上、および市場と資本へのアクセス促進を含む）の促進

g) 環境 (Environment)

ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。事業タイプは以下のような支援です。

- 陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
 - ・森林破壊と生息環境悪化の防止、原生植物の植樹・植付、森林再生の促進と生息地の回復、侵入性動植物の除去などの取り組みを通じた、陸上生態系の保護と回復
 - ・在来動植物の保護と繁殖、侵入性動植物の除去、過剰漁業、汚染、海岸侵食、海洋酸性化への対策といった取り組みを通じた、沿岸、海洋、淡水生態系の保護と回復
- 天然資源の管理と保全を実行する地域社会と地方自治体の能力向上
 - ・天然資源と自然遺産を保存、保護、および持続可能な方法で利用できるようにするための保全と資源管理に関する地域社会の研修と教育
 - ・生態学的に健全で平和的で公平な解決を通じた、人間と野生生物の対立の緩和
- 農業生態学および持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
 - ・再生農業、保全農業、管理された放牧、農林業、林間放牧、または樹木の混植を通じた、生態学的に存続可能な農業慣行の採用の増加
 - ・持続可能な漁業と生態学的に健全な水産養殖の支援
 - ・農業、土地、海洋、天然資源の管理の実践における伝統的知識と先住民族の知識利用の促進、活性化、保全
 - ・持続可能な農業、水産養殖、漁業の手法、地元の食料源のサポート、農業の多様性、食品廃棄物の削減、高品質の食料への公平なアクセスを通じた食糧安全保障の向上

5. 事業予算規模と第2650地区のDDF申請基準

グローバル補助金の最低予算は30,000ドルであり、国際財団活動資金（WF）の最高授与額は400,000ドルです。RIは、DDF寄贈に対して80%のWFを上乗せします。グローバル補助金申請のDDF以外のクラブ拠出や現金拠出に対するWF資金の上乗せは、廃止されております。詳しいRIのグローバル補助金事業の基準は、マイロータリーのグローバル補助金で確認して。以下は、当地区の今年度のグローバル補助金申請の基準です。

1) 第2650地区のDDF申請条件

クラブは資格認定（財団補助金管理セミナーおよび地区財団セミナーを受講し、クラブの覚書（MOU）を提出されており、地区グローバル補助金委員会からのグローバル補助金事業のアンケート提出済であれば、年度を通してDDFの申請することができます。

2) 第2650地区のDDF申請の際の資金調達条件

2024-25年度のグローバル補助金【人道的/職業研修】事業を代表提唱クラブとしてDDF活用申請をされる場合、原則として、当地区DDF申請額の10%以上をクラブの現金拠出または他地区のDDFを使用する事を条件としておりましたが、2025-26年度よりこの条件を廃止いたします。

また、2024-25年度までは事業を協力提唱される場合の上限を5,000ドルとしておりましたが、同時にこれについても廃止いたします。

6. グローバル補助金の申請時期と必要書類

1) 第2650地区のDDF申請書類の審査時期

2025-26年度のグローバル補助金の人道的と職業研修事業のDDF活用申請の受付は、年間を通して随時受付いたしますが、2カ月に1度の審査会において、まとめて審査いたします。審査にあたっては、地区グローバル補助金事業DDF活用予定のアンケートを提出されていることを条件といたします。

【補足】当地区のDDF予算が不足した場合、一旦グローバル補助金事業の申請受付を中止する場合があります。

7月1日～8月31日に提出された活用申請は、9月1日以降の審査会で審査。

9月1日～10月31日に提出された活用申請は、11月1日以降の審査会で審査。

11月1日～12月31日に提出された活用申請は、1月1日以降の審査会で審査。

1月1日～2月28日に提出された活用申請は、3月1日以降の審査会で審査。

3月1日～4月30日に提出された活用申請は、5月1日以降の審査会で審査。

5月1日～6月30日に提出された活用申請は、7月1日以降の審査会で審査。

2) 2650地区のDDF申請必要書類 ①～③

① 第2650地区財団活動資金申請書（人道的奉仕/職業奉仕（VTT）をガバナー事務所へご申請ください。

② グローバル補助金のオンライン申請書のコピー（できれば和訳）和訳用テンプレート

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/global-grant-application-template>



③ グローバル補助金 地域社会調査の結果フォーム（日本語）

<https://my.rotary.org/ja/document/global-grants-community-assessment-results>



必要に応じて、以下の④～⑦はRIの申請の際に必要な書類です。

④ 協力団体のMOU

<https://my.rotary.org/ja/document/cooperating-organization-memorandum-understanding>



⑤ 経費を裏付ける書類（見積書提出可能な場合）

⑥ 職業研修（VTT）の日程表（日本語）

<https://my.rotary.org/ja/document/global-grants-vocational-training-team-itinerary>



⑦ 職業研修チーム：メンバー申請書（日本語）

<https://my.rotary.org/ja/document/vocational-training-team-member-application>



7. グローバル補助金の申請手順

申請入力にあたっては、必ず「補助金センターのご利用ガイド」をダウンロードしてお手元にご用意ください。（参照） RI サイト：<https://my.rotary.org/ja/document/how-use-grant-center>） MyROTARY ログイン後に、ご利用いただけます。「補助金センターのご利用ガイド」にサンプルの入力方法を紹介しております。

（参考）グローバル補助金申請入力（Global Grant Application）記載項目

- | | | |
|---------|--------------------|-----------|
| ステップ 1 | Basic Information | ：基本情報 |
| ステップ 2 | Committee Members | ：委員会メンバー |
| ステップ 3 | Project Overview | ：プロジェクト概要 |
| ステップ 4 | Area of Focus | ：重点分野 |
| ステップ 5 | Measuring Success | ：成果の測定 |
| ステップ 6 | Location and Dates | ：実施地と実施時期 |
| ステップ 7 | Participants | ：参加者 |
| ステップ 8 | Budget | ：予算 |
| ステップ 9 | Funding | ：調達資金 |
| ステップ 10 | Sustainability | ：持続可能性 |
| ステップ 11 | Review and Lock | ：見直しと確定 |
| ステップ 12 | Authorization | ：承認 |

8. グローバル補助金の支払

1) 地区のDDF活用申請書が承認された後、マイロータリーでの申請書をRIへ提出し、その後RIで審査が開始されます。グローバル補助金事業の申請書がRIにより承認された場合、双方の提唱者が法的同意書を承認、他の現金拠出額が受領された後、RIが事業に対しては支払いを行います。地区のDDF活用申請書の承認は、RIの申請を確約するものではありません。

2) RIの承認後の手続について

ロータリー財団から補助金の正式な承認通知は事業に登録されたメールアドレスに一斉配信されます。RIからの承認後、補助金の受領の為に以下の手続を完了する必要があります。手続が完了後、国際ロータリー公式為替レートに基づいて支払いが実行されます。プロジェクトを開始する為に、速やかに財団承認後の手続を行う事をお勧めします。不明な点は、地区のグローバル補助金委員会へお問い合わせ下さい。

(海外=実施国代表提唱クラブの手続)・・・補助金口座を実施国で開設する場合

1. グローバル補助金の銀行口座に関する情報を提出
2. グローバル補助金銀行口座の署名人となるロータリアン2名を指名
3. グローバル補助金の法的同意事項を承認

(日本=共同提唱クラブの手続)

1. 現金拠出金をロータリー日本財団に振り込み、寄付送金明細書に必要事項を記入のうえ提出（「ロータリー財団寄付送金明細書」参照）

(日本=援助国側代表提唱クラブの手続)

1. グローバル補助金の法的同意事項を承認
現職のクラブ会長（クラブが補助金の提唱者である場合）がオンラインで、申請書のグローバル補助金の法的同意事項を承認（補助金センターのご利用ガイド参照）
2. 現金拠出金をロータリー日本財団に振り込み、寄付送金明細書に必要事項を記入のうえ提出（「ロータリー財団寄付送金明細書」参照）

A. 銀行振込による寄付の流れ

①寄付送金明細書を記入する

寄付送金明細書に必要事項を記入し、国際ロータリー日本事務局経理部（kifu@rotary.org）へメールにてお送りください。

（メールが使えない場合は、FAX：03-5439-0405）でも可）

※寄付送金明細書は、エクセル形式のままお送りください。

※寄付送金明細書の入手方法

寄付送金明細書のダウンロードは、MyROTARYより可能です。

MyROTARYのトップ画面の右上「ご寄付」をクリック→「ご寄付」ページの最下部「寄付書式」の中の「ロータリー日本財団寄付送金書式（ロータリアン／クラブ用）」をクリックすると、ダウンロードが始まります。

（特記事項）グローバル補助金に現金拠出などには、グローバル補助金受付番号

（GG××××）を通信欄：および寄付分類に記入すること。

② 寄付金を指定の口座へ送金する

A

公益財団法人 ロータリー日本財団
寄付送金明細書(振込専用)

TEL:03-5439-5806

振込先: 三井住友銀行 赤羽支店 普通預金 3978101 名義: 公益財団法人ロータリー日本財団
送金明細書送付先: kifu@rotary.org エクセルデータのままメールに添付し、送金日までにお送りください

通信欄:

ここに、グローバル補助金番号「GG2XXXXXの現金拠出」と記入します。

一括1万ドル以上の大口寄付について寄付者名を公表することがあります。希望されない場合は次の口に✓をお願いします。

い。(寄付者名) _____

* ご記入いただいた個人情報は、[ロータリーのプライバシー方針](#) に従い、内容についての連絡、領収証の発送、寄付の記録や推進等に使用させていただきます。

* 自動計算で表示される箇所 ←この色がついている箇所は数式により自動計算されるため、入力不要です。合計額等が表示されますので、入力内容に誤りが無いかご確認ください。

着金日のRILEートが適用されます

送金情報	送金(予定)日	振込元 金融機関 支店名		送金額	RILEート
					¥0
	地区番号	クラブ番号	クラブ名	担当者名	TEL
寄付者名 (領収証名)	ローマ字	ID番号	寄付分類	円金額	\$金額
			▼で選択	合計 ¥0	(自動計算)
1			グローバル補助金 (GG)		
2					
3					

ここに、グローバル補助金番号「GG2XXXXX」を入力します。

B. オンラインでの寄付

6 MyROTARYにログイン後、下記ウェブページ内の「ご寄付」ボタンから手続画面へお進みください。

7 「ご寄付」: <https://www.rotary.org/ja/donate>

8 お手続が完了すると確認のメールが届きます。必ず確認し、保管してください。

・クレジットカードでの決済となります。

9 ・税制上の優遇措置を受けるためには、手続画面の中で「国: 日本」「通貨: 円」となっていることをご確認ください。

10 ・銀行振込でのご寄付と異なり、寄付明細は発行されません。手続の最後の画面を確認画面として印刷し保管ください。

代理寄付

役職登録済みのクラブ会長、幹事、事務局の方などは所属クラブ、またはクラブ会員の代理寄付ができます。My ROTARY にログイン後、上記手続画面で寄付分類を選択した後、「これはクラブまたは会員からの寄付です」を選び、詳細を入力してください。

9. グローバル補助金の報告要件

グローバル補助金事業が承認された後、クラブは直接RIの報告義務に従って報告を行う必要があります。

報告書は、クラブがオンラインで直接RIに提出します。

中間報告書は、補助金の最初の支給を受けてから12 カ月以内に提出し、その後も12 カ月毎に提出しなければなりません。

最終報告書は、補助金がすべて使用され、活動の目的が達成された後に提出します。

プロジェクト完了後2 カ月以内に提出しなければなりません。報告書は以下を含めた詳細な説明を含む必要があります、プロジェクト完了後、現地地域社会がプロジェクトを継続していくため（持続可能性）の手段を備えた事が確認され次第、財団は補助金を終了とします。

1. プロジェクトが重点分野の目標をいかに助長したか
2. プロジェクトが、申請書に記載された個々の目標をいかに達成したか
3. プロジェクトの成果が、長期にわたっていかに持続されるか
4. 実施国、援助国双方の提唱者、協力団体がどのように参加したか
5. プロジェクトに要した費用の詳細な内訳とプロジェクト専用銀行口座の明細書

RID2650 2023-24年度 グローバル補助金事業状況

グローバル補助金番号 2351372						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
母子の健康	状況	45,760ドル	25,423ドル	英国	Radlett RC (D1130)	京都南RC
	Paid					
西田梨乃さんが予定する 英国 London School of Hygiene & Tropical Medicineへの留学に対する奨学金支援事業						

グローバル補助金番号 2460968						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
疾病予防と治療	状況	73,800ドル	41,000ドル	カナダ	Toronto RC (D7070)	京都洛北RC
	Paid					
中村健治さんが予定するカナダ University Health Networkへの留学に対する奨学金支援事業						

グローバル補助金番号 2461590						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
水と衛生	状況	72,000ドル	40,000ドル	オーストラリア	Canberra Sunrise RC (D9705)	京都南RC
	Paid					
中山友梨香さんが予定するオーストラリア国 Australian National Universityへの留学に対する奨学金支援事業						

グローバル補助金番号 2344007						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	人道的					
水と衛生	状況	40,876ドル	16,000ドル	ベトナム	3350地区と5000地区 事業に協力	第2650地区 やまとまほろばRC
	Paid					
3350地区 (Danan RC)と5000地区 (Lahaina Sunset, Maui RC)が実施するVTT(職業研修)事業に、当地区が中心財源となり援助する。 ベトナム、ヒエップドゥック県の高校の寄宿舎における水と衛生の改善事業 約80名の学生が生活する寄宿舎のトイレ整備と、衛生的な生活ができるように備品の入替、改修を行う事業						

グローバル補助金番号 2348940						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	人道的					
環境	状況	143,608ドル	12,000ドル	コンボ共和国	2485地区と1150地区 事業に協力	第2650地区 京都南RC 桜井RC
	承認					
2485地区 (Peja RC) と1150地区 (Cardiff Bay RC)が実施する事業に、当地区が中心財源となり援助する。 コンボ、ペイジャ病院での環境を配慮した再生可能エネルギーへの支援事業。病院で使用する原油燃料の洗濯機により排出される排煙や土壌汚染を改善するために、太陽エネルギーを用いた再生可能な燃料システムに置き換える事業						

計	4分野	1件	376,044 ドル	134,423 ドル	5カ国	4クラブ
---	-----	----	---------------	---------------	-----	------

RID2650 2024-25年度 グローバル補助金事業状況

グローバル補助金番号 2459167						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	人道的					
疾病予防と治療	状況	49,353ドル	25,500ドル	トンガ	Nuku'alofa RC (D9920)	福井北RC
	Paid					
トンガ王国における糖尿病合併症(糖尿病性壊疽)、閉塞性動脈硬化症に対する医療支援						

グローバル補助金番号 2572687						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	人道的					
疾病予防と治療	状況	91,311ドル	48,500ドル	ドミニカ	La Vega Real RC (D4060)	奈良RC 京都南RC
	Paid					
ドミニカ共和国で増加する、学校や家庭での子ども達へのDV防止のため、両親や子ども達に対しメンタルケアの専門家による 治療を行う事業。						

グローバル補助金番号 2576227						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
平和構築と紛争予防	状況	61,200ドル	34,000ドル	英国	South Queensferry RC (D1320)	奈良RC
	Paid					
可児 菜奈子氏が予定する英国University of Edinburghへの留学に対する奨学金支援事業						

グローバル補助金番号 2576800						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
疾病予防と治療	状況	52,200ドル	29,000ドル	カナダ	Toronto RC (D7070)	京都東RC
	Paid					
戸田 有亮氏が予定するカナダトロント大学Princess Margaret Cancer Centreへの留学に対する奨学金支援事業						

グローバル補助金番号 2577018						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
環境	状況	51,300ドル	28,500ドル	スウェーデン	Rotary Club of Stockholm Global City	奈良大宮RC
	Paid					
山本 花氏が予定するスウェーデン ストックホルム大学への留学に対する奨学金支援事業						

グローバル補助金番号 2577927						
重点分野	種別	事業予算	RID2650 DDF使用額	実施国	実施国代表	援助クラブ
	奨学金					
平和構築と紛争予防	状況	46,000ドル	26,000ドル	英国	Rotary Club of Colchester (D1240)	京都南RC
	Paid					
平野 拓海氏が予定する 英国Essex大学への留学に対する奨学金支援事業						

計	3分野	6件	351,364 ドル	191,500 ドル	5カ国	6クラブ
---	-----	----	---------------	---------------	-----	------

第6章 ロータリー財団奨学金

奨学金としては地区補助金（District Grants：DG）とグローバル補助金（Global Grants：GG）を利用する2つに分かれます。地区補助金のみ奨学金は、第4章 地区補助金をご覧ください。この章ではグローバル補助金による奨学金についてご説明します

1. グローバル補助金による奨学金

専攻分野とキャリア目標がグローバル補助金の重点分野（参照：第5章4項 重点分野の基本方針）のいずれかに該当している、大学院レベルの留学者を支援できる。1～4年間の授業料、部屋代と食費、支援期間中の諸費用を賄うことが可能である。

- グローバル補助金に関する一般事項については、第5章 グローバル補助金を参照のこと。
- グローバル奨学生の募集要項

国際ロータリー第2650地区

2027-28年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生

募 集 要 項

国際ロータリー第2650地区ロータリー財団委員会

【問い合わせ先】ガバナー事務所：oota@rid2650.gr.jp

国際ロータリー第2650地区（京都府・福井県・滋賀県・奈良県）は、当地区の募集要項に従い、2027-28年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生候補の募集を行います。

国際ロータリー第2650地区ロータリー財団グローバル補助金奨学金制度の主要な目的は、7つの重点分野（1. 平和構築と紛争予防、2. 疾病予防と治療、3. 水と衛生、4. 母子の健康、5. 基本的教育と識字率向上、6. 地域社会の経済発展、7. 環境）のいずれかに該当する分野で研究・活動する方を奨学金で支援し、将来的に持続的かつ測定可能な成果を生むことです。

※ 国際ロータリーのホームページ「<http://www.rotary.org>」では、国際ロータリーおよびロータリー財団に関する情報をご覧ください。

奨学金の期間 1～2年間

支給額 本人のエコノミー往復航空券代、授業料、教材費、寮費または下宿代、食費等に対して、米貨30,000ドル以上を提供する。（合格者の人数、留学期間、留学国などを考慮し、当地区の担当部門が金額を決定）

募集人員 若干名

応募資格

- 1) 7つの重点分野のいずれかに該当する分野で研究・活動する事を目標とし、大学院レベルの教育目標もこれに関連すること
- 2) 学歴、職歴、活動歴が7つの重点分野に関わっていること
- 3) 海外の大学院レベルの教育プログラムで学ぶこと（大学協定校等への派遣留学・交換留学は不可）
- 4) 2027年4月までに大学課程を修了している者、または修了することが見込まれること

- 5) 2027年7月1日から2028年6月30日の期間内にスタートする新学期から留学を開始すること
- 6) 留学先がロータリーの存在する国であること
- 7) 入学許可状／招請状、または学費支援の保証を必要とする条件付き入学許可状を提出できること
- 8) 応募時に、ロータリー第2650地区内に居住（※居住とは実際に生活している事を意味します。）していること。または、同地区内に所在する大学・大学院に在学、あるいは、職場に在職していること。但し、応募時において日本国外に留学または就職している場合は応募出来ません。
- 9) 日本国籍あるいは永住権を有すること
- 10) 受入国の言語に堪能であること、留学先のプログラムが求める語学力要件を満たすことを証する資料を提出できること
- 11) 優秀な学業成績を持つと共に、親善使節としての素質をもっていること
- 12) 指導力、独創性に富み、順応性、思慮分別を持ち、目的に対し誠実であること
- 13) 留学国の国情、国民性に関心と理解を持ち、日本の歴史、地理、文化、時事問題に通じていること
- 14) ロータリアンおよびロータリー関係組織職員ではないこと
- 15) ロータリアンの尊属、直系卑属、その配偶者ではないこと
- 16) 奨学金の授与前に留学を開始していないこと
- 17) 他の奨学金を受けていないこと。

奨学金授与の条件

- 1) 奨学金の授与にあたって、ロータリー財団の掲げる諸条件に同意すること
- 2) 第2650地区および受入地区が実施するオリエンテーションに出席すること
- 3) 奨学期間の開始前と終了後に、支援ロータリークラブでスピーチを行うこと
- 4) 奨学期間中、受入地区ではロータリーに積極的にに関わり、クラブのスピーチ依頼や社会奉仕活動、人道的奉仕活動に取り組むこと
- 5) 留学中は全過程において優秀な成績を維持し、奨学金プログラムの親善と学業の両面に等しく重点をおくこと
- 6) 留学中は、奨学金の支出記録をとり、定期的に支援ロータリークラブへ報告すること
(奨学生は、6ヵ月毎に中間報告を、留学終了時に最終報告を提出しなければなりません)
- 7) 各種報告の提出や、留学先の支援ロータリークラブの担当者や会長への手続き依頼など、最終手続きの完了まで主体的に責任を持って関わること
- 8) 奨学期間終了後は速やかに帰国し、第2650地区学友会（フェローズ2650）に入会し、学友として支援クラブや地区の諸活動に可能な限り積極的に参加し、ロータリーと長期にわたる関係を築くこと
- 9) 学業成績不良、不良行為の立証、報告の不提出、ロータリー財団の承諾を得ずに学業課程の変更、中途退学、留学国の語学に対する知識の不足、“親善使節”としての任務不行使、その他奨学金の条件を充たせなくなる様な事態が発生した際には、奨学金の返還を求める場合がある
- 10) 奨学期間終了後、連絡先（住所・電話・Email等）に変更が生じた際は、迅速にガバナー事務所及び第2650地区学友会へ連絡すること
- 11) 奨学金の交付は、生涯ひとり1回限りとする

応募の期間・方法

応募の受付期間は、2026年7月1日～2026年10月15日です。

以下の提出書類を国際ロータリー第2650地区のガバナー事務所 担当：太田宛にメール添付にて

ご提出ください。(提出締切：2026年10月15日必着。※持参・郵送禁止)

【提出先メールアドレス】 oota@rid2650.gr.jp

一次選考（当地区選考）提出書類

- 1) RI 第 2650 地区 グローバル補助金奨学金応募申込書 ※履歴書
 - 2) RID2650 地区財団活動資金申請書【グローバル補助金】
 - 3) GG-SCH Candidate Eligibility Pre-Check form (和文・英文の両方準備)
- 以上、1) ～3) の書式は、ガバナー事務所よりお取り寄せ下さい。※メールにて依頼

【資料取寄せ時の注意点】

メール依頼の際、 ●現在のご自身の立場 ●現在研究／仕事されている内容（簡潔に）
●ご自身が該当すると思われた重点分野 ●志望留学先の国、学校／機関名（予定でも）
●留学先での専攻／研究分野 ●予定留学期間 をメール本文中にご記載ください。

その他、下記 4-1)～ 4-7) をご準備下さい。

- 4-1) 海外の大学院レベルの教育機関からの入学許可状（語学条件付き許可状は不可）、招聘状または受入予定を記する文書
- 4-2) 指導教員／上司による推薦書（自由書式、推薦者の署名入り、和文・英文の両方準備）
※4-1) の入手が応募締切日までに間に合わない場合に限り、暫定的な代替措置として、4-2) 推薦書での応募を受け付けます。ただし、4-1) の準備ができ次第、速やかにご提出ください
※4-1) の最終提出期限は 2027 年 3 月 31 日です（期限までに提出できない方は応募できません）
- 5) 語学力証明書（留学先の国や地域の言語・コピー可）
*英語圏：TOEFL、TOEIC、IELTS 等の成績表
*英語圏以外：該当する外国語能力評価の標準となっている語学力テストの成績表（取得日より 1 年以内のものが望ましい）申請時に語学力テストの結果が手元にない場合には、その旨を記載した文書を同封すれば申請を受け付けます
- 6) 経費見積書／計画書（自由書式）
- 7) 最終教育機関の成績表（和文または英文）※現役学生の場合は、入手でき次第、提出の事上記 1) ～ 7) をメール添付にて、担当者宛てにご送付ください

選考方法

- ・当地区財団奨学金委員会による一次選考（書類・面接審査）：2026 年 11 月中に開催予定
※面接方式・日時は、各応募者に直接メールで連絡します
※面接は日本語で行います。筆記試験はありません
- ・国際ロータリー財団による書類審査（事前審査）：随時実施

一次選考合格から派遣までの流れ（予定）

当委員会は、一次選考の合格者について「留学先研究機関への入学の確定」を条件にグローバル奨学生候補者として当地区内の各ロータリークラブへ推薦します。奨学生候補者を支援しようとするロータリークラブ（派遣国側）との面接を経て、支援が決定次第、共同で留学先地域のロータリークラブ（受入国側）への支援依頼に取り組んでいただきます。こうして「派遣国側支援クラブ」「受入国側支援クラブ」が確定すると、国際ロータリー・ロータリー財団へのオンライン申請手続を行なうことができま

す。申請後、ロータリー財団の最終審査に合格すると、奨学金の交付が確定します。
最終合格者は留学開始までに、地区主催のオリエンテーションやロータリークラブの会合に参加し、国際ロータリーに関する理解を深めることが求められます。

注意

- ・ ロータリー財団の承認前に支払った費用については、奨学金の対象になりません。
- ・ 国際ロータリーのホームページより『**ロータリー財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件**』および『**グローバル補助金 奨学金の補足資料**』をご確認ください。
- ・ 留学先機関の入学許可を得ていること、第 2650 地区内の派遣国支援クラブが決まること、留学先の受入国支援クラブが決まること、これら 3つの条件を満たさなければ、ロータリー財団への申請と最終審査を受けることはできません。特に留学生の集中する地域（ロンドン、ボストンなど）については世界中から希望者が集まりますので、受入クラブが決まらない場合があります。
- ・ 奨学金額は、一次選考終了後に合格者の人数、留学期間、留学先地域などを考慮し決定いたします。最低金額は米貨 30,000 ドルです。
- ・ 一次選考までの問い合わせや書類提出は、国際ロータリー第 2650 地区ガバナー事務所宛にお願いいたします。当地区では、窓口を国際ロータリー第 2650 地区ガバナー事務所（財団奨学金・平和フェロシップ委員会）に一本化しています。各ロータリークラブへの直接の問い合わせはしないでください。
- ・ 問い合わせや質問への返信について、財団奨学金委員が対応させていただく場合があります。この場合、応募者のメールアドレスや電話番号など個人情報を一部共有させていただきますことをご了承ください。

補足：「地区」とは、国際ロータリーの管理の便宜上結びつけられた、一定の地理的な市域内にあるロータリークラブのグループです。2025 年 7 月時点で、200 以上の国と地域に 520 地区があります。日本は 34 地区に分かれています。国際ロータリー第 2650 地区は、京都府・福井県・滋賀県・奈良県の 4 府県にある 96 クラブ、総会員 4,129 名（2025 年 7 月期首）で構成されています。

国際ロータリー第 2650 地区 ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 614 番地 関電不動産京都ビル 5 階 520

問い合わせ：AM10:00～PM16:30（土・日・祝日休）

※問い合わせはメールにてお願いします。

●グローバル奨学金の応募申込と申請

次頁以降の応募申込書と RID2650 地区財団活動資金申請書【グローバル奨学金】をご利用ください。（指定用紙は第 2650 地区ガバナー事務所へご請求ください。）

国際ロータリー第2650地区
グローバル補助金奨学金 応募申込書

年 月 日提出

ふりがな				年 月 日生	(写真貼付) 写真をスキャンで 取り込み、この枠 内に貼り付けてく ださい
氏名				才 (性別：男・女)	
現住所 (居住)	〒 -				
実家					
TEL		携帯			
FAX		E-mail			
学歴	大学				
	大学院				
勤務先	名称				
	住所				
奨学金 種類	種類	グローバル補助金			
	専門分野 (該当分野を ○で囲んでく ださい)	平和構築と紛争予防 ・ 疾病予防と治療 ・ 水と衛生 ・ 母子の健康 基本的教育と識字率向上 ・ 地域社会の経済発展 ・ 環境			
志望する 教育機関	国名	都市名	使用言語	教育機関名	
			語		
留学経験 教育機関			語	年 月 年 月	
			語	年 月 年 月	
			語	年 月 年 月	
			語	年 月 年 月	
家族 状況	氏 名		続 柄	職 業 (勤務先・通学先)	同居 別居
本人以外の 緊急連絡先			電話番号		

●グローバル補助金のことを、どこで知りましたか？できるだけ詳細に記述ください。

(枠内に収まるように簡潔に記入および、
印刷した際に文章途切れないがないか、確認をお願いします)

●ボランティア経験はありますか？ ない/ある いずれかに☑としてください。

- ない
 ある ↓詳細を記してください↓

(枠内に収まるように簡潔に記入および、
印刷した際に文章途切れないがないか、確認をお願いします)

●ご自身の立場が、以下のいずれかに該当しませんか。該当しない場合はチェックボックスに☑としてください。

1. 現ロータリアン
2. クラブ、地区、その他のロータリー組織、国際ロータリーの職員
3. 1・2の配偶者、直系卑属(血縁、養子縁組、再婚による子または孫)、直系卑属の配偶者、直系尊属(血縁による親または祖父母)、ロータリー財団または国際ロータリーと提携する機関、組織、団体の職員
4. 退会から3年を経過していない元ロータリアンおよび、その親族関係にある人

該当しません → 書類審査通過者には、別途誓約書をご提出いただきます。

上記の通り、ロータリー財団奨学金プログラムに申込みます。

申込者氏名

【奨学生候補者の方へ】
推薦クラブと会長署名欄は、
空白のままです。

推薦クラブ

ロータリークラブ

会長署名

RID2650 地区財団活動資金申請書 **【奨学金事業】**

(District Designated Fund : DDF)

申請年月日 (西暦)	
------------	--

グローバル補助金申請番号	
--------------	--

重点分野	<input type="checkbox"/> 平和構築と紛争予防	<input type="checkbox"/> 疾病予防と治療	<input type="checkbox"/> 水と衛生
	<input type="checkbox"/> 母子の健康	<input type="checkbox"/> 基礎的教育と識字率向上	
	<input type="checkbox"/> 地域社会の経済発展	<input type="checkbox"/> 環境	

申請者情報			
クラブ名		ロータリークラブ	
代表連絡担当者	氏名:		役職:
連絡先	電話:		
連絡先	メール:		
受入側地区		地区	
パートナーとなる代表RC			ロータリークラブ

プロジェクト名	Scholarship for 氏名【ローマ字】: 氏名【漢字】さんに対する奨学金
プロジェクトの概要	

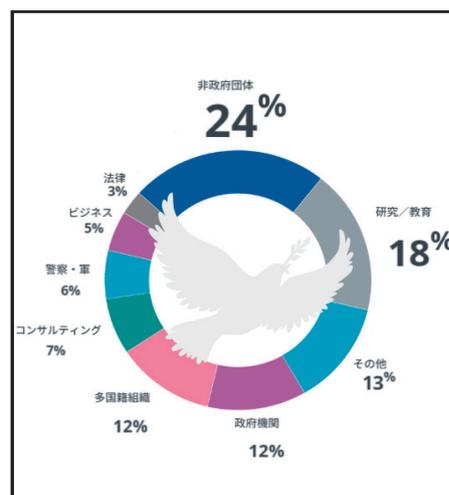
奨学生情報	
奨学生氏名	留学先国名
留学先機関の名称	
入学許可証/受入機関の招聘状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (入手予定日)
留学期間	(開始) 年月日 ~ (終了) 年月日
最終学歴・職歴・活動歴	
派遣先における履修課程	
将来のキャリアプラン	

第7章 ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和フェローシップは、ロータリー財団より提供される奨学金です。ロータリー平和センターでの質の高い学術研究と実地研究（インターンシップ）を通じて、未来の平和構築者を育成するというロータリーの使命を支えるために設けられました。奨学金の受領者となるロータリー平和フェローは、それぞれの地域社会とグローバル社会における平和構築と紛争予防分野のリーダーとなるためのスキルを培います。

このフェローシップは、国際関係、平和構築と紛争予防の分野におけるキャリアを志し、すでにこれらの分野で経験を積み、社会奉仕や人道的国際奉仕への熱意を示すとともに、平和のために尽くす意欲のある人を対象としています。候補者は、申請前にこの目的を十分に考慮してください。

ロータリーでは、障害のある方やその他の多様な背景を持った方からの申請を奨励しています。必要に応じて、障害のある方々のための適切な手配を行います。



ロータリー平和センター卒業者の進路

1. 2つのプログラムの違い

フェローシップには、**修士号取得プログラム**と**専門能力開発修了証プログラム**の2種類があります。

	修士号取得プログラム	専門能力開発修了証プログラム
目的	将来のリーダーを育成	今日のリーダーを強化
期間	15～24カ月 (提携大学により異なる)	1年間 (働く専門職従事者を対象とした 1年間の混合型学習)
ロータリー平和センターの数	5	2
提携大学	デューク大学／ノースカロライナ大学 国際基督教大学 (ICU) ブラッドフォード大学 クイーンズランド大学 ウプサラ大学	マケレレ大学 バーチェシエヒル大学 シンビオシス国際大学
フェローシップの受領者数	最高50人 (各平和センター 10人まで)	最高80人
実施研修	2～3カ月間の実施研修	11週間にわたる現地でのコース (実地研究を含む) ほか

2. 申請資格と選考基準

1) 修士号取得プログラム

申請者は学業において優れた成績を残し、関連分野の学士号および平和と開発の分野における職歴を有していることが望まれます。さらに、平和と紛争解決に対する熱意を実証し、多くの文献とリサーチに取り組みディスカッションに参加する能力、および多国籍の同期生との共同活動に積極的に参加する能力が必要とされます。

候補者はまた、平和構築の実績があり、将来的な成長の可能性を有し、フェローシップへの参加から関連分野でインパクトをもたらせるリーダーである必要があります。

- 英語に堪能であること
- 学士号を取得していること
- 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証していること
- リーダーシップスキルを実証していること
- 平和あるいは開発の分野において少なくとも3年間のフルタイムの職歴を有していること

※ 留意点:ロータリー平和フェローシップで博士課程に通うことはできません。

その他制約事項については、RIウェブサイトにてご確認ください。

2) 専門能力開発修了証プログラム

申請者は、平和と開発の分野におけるリーダーシップを実証し、関連分野において少なくとも5年の職歴を有していることが望まれます。

候補者は、このプログラムが提供される地域で平和と開発を推進することを目的とする社会変革イニシアチブのアイデアを携えてプログラムに参加する必要があります。また、フェローシップでの経験とそこで築くネットワークが平和構築をいかに促進し、自身がもたらすインパクトを高めることになるかについて、明確なビジョンを備えているべきです。

このプログラムは現役の職業人を対象としており、11週間の現地での参加が必要となります。

- 英語に堪能であること
- 学士号を保有していること
- 平和あるいは開発の分野において少なくとも5年のフルタイムの職歴を有していること
- 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証していること
- リーダーシップのスキルを実証していること
- 平和推進における自身の計画がロータリーの使命とどう一致するかを説明できること
- (マケレレ大学を希望する申請者) アフリカの出身である、アフリカでの勤務経験がある、またはアフリカの地域社会で活動したことがある、またはアフリカ大陸外でのアフリカ関連のイニシアチブに取り組んだ経験があること
- (バーチェシェヒル大学を希望する申請者) 中東または北アフリカの出身である、その地域で働いたことがある、またはほかの地域で中東または北アフリカに関連するコミュニティまたはイニシアチブで活動した経験があること、またはこの地域での平和構築アプローチについて学ぶことに対して非常に強い関心を示していること。

3) 資格に関する制約

ロータリー平和フェローシップで博士課程に通うことはできません。また、以下の人はフェローシップの対象外となります。

- ロータリー正会員、名誉会員
- ロータリークラブ／地区／国際ロータリー／そのほかのロータリー関連組織の職員
- 上記2点に該当する人(故人名誉会員を除く)の配偶者、両親と祖父母、子どもおよび孫(血縁と養子の両方)とその配偶者

- クラブを退会してから36カ月未満の元会員およびその親族(上記に該当する親族)候補者は以前の学位プログラム(学士号または大学院学位)の修了から、希望するフェローシップ開始日までの間に、少なくとも3年の関連分野での職務経験を有していなければなりません。さらに、ロータリー平和フェローシップまたはグローバル補助金奨学金プログラムの中で3年間の期間が空いている必要があります。

■ロータリー平和フェローシップの申請方法

2027-28年度の申請書は、2026年2月に利用可能となります。

申請資格の確認

申請前に、rotary.org/peace-fellowshipsで申請資格を確認してください。

■申請についての問い合わせ先

国際ロータリー第 2650 地区 財団奨学金・平和フェローシップ委員会

【問い合わせ先】ガバナー事務所:oota@rid2650.gr.jp

リソースと参考資料の入手

▼ロータリー平和フェローシップの申請 (日本語版)

RIウェブサイト「ロータリー平和フェローシップの申請」

<https://my.rotary.org/ja/peace-fellowship-application>

▼ロータリー財団平和奨学金に関するリソース&参考資料

- 1) ロータリー平和フェローシップ申請に関する説明 (英語)
- 2) 効果的な申請書を書くためのヒント
- 3) フェローシップガイド (修士課程)
- 4) フェローシップガイド (専門修了証)
- 5) ロータリー平和フェローシップのパンフレット
- 6) ロータリー平和センター情報を紹介したビデオ
- 7) ロータリー 平和センター平和の願いはきっとかなう
- 8) ロータリー平和フェローシップの詳細

<https://www.rotary.org/ja/our-programs/peace-fellowships>

●日本のICU ロータリー平和センターのウェブサイトもご覧ください。

ロータリー平和センタープログラム: 紹介動画をご覧ください。ロータリー平和センタープログラムの内容をご理解いただくことができます。<http://rotary-peace.jp/>

●ロータリー平和センターに関する情報提供ウェビナーに登録

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/webinars/upcoming>

(ご注意) 平和づくりに貢献できる人材を育てたい… そんな願いから、ロータリーは、ロータリー平和センターで学ぶための奨学金(フェローシップ)を提供しています。ロータリー平和センターで学ぶ学生は平和フェローと呼ばれ、研修、研究、実践を経て、平和と開発の分野で活躍する人材となります。卒業生の多くは、各国政府、NGO、国連や世界銀行などの国際機関に就職、または法律関係や教育分野でキャリアを築いています。

1. 地区への提出（覚書・申込・申請・報告用）書類

- ① 下記 1) ～ 5) の書類は別途、全クラブへお送りします。
 - 1) クラブの参加資格認定：覚書（MOU）
 - 2) ロータリー財団地区補助金申請書
 - 3) ロータリー財団地区補助金報告書
 - 4) ロータリー財団地区補助金申請書（奨学金申請用）
 - 5) ロータリー財団地区補助金報告書（奨学金事業用）

- ② 下記 6) ～ 8) の書類は、グローバル補助金を申請される際に、連絡頂ければお送りします。
 - 6) 地区財団活動資金申請書（グローバル人道的奉仕／職業研修（VTT）用）
 - 7) 地区財団活動資金申請書（グローバル奨学金用）
 - 8) ロータリー財団グローバル補助金応募申込書（奨学金用）

- ③ その他（グローバル補助金による個人・クラブ負担（寄付）の送金明細）
 - 9) ロータリー財団寄付送金明細書（ロータリアン／クラブ用）

2. RIの資料 ※年に数回更新あり。最新版は、以下の URL からご確認ください。

◆地区補助金 授与と受諾の条件

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/terms-and-conditions-rotary-foundation-district-grants>

◆グローバル補助金 授与と受諾の条件

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/terms-and-conditions-rotary-foundation-global-grants>

●水と衛生 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/water-sanitation-and-hygiene-guidelines-global-grant-funding>

●平和構築と紛争予防 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/peacebuilding-and-conflict-prevention-guidelines-global-grant-funding>

●疾病予防と治療 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/disease-prevention-and-treatment-guidelines-global-grant-funding>

●基本的教育と識字率向上 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/basic-education-and-literacy-guidelines-global-grant-funding>

●環境 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/environment-guidelines-global-grant-funding>

●母子の健康 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/maternal-and-child-health-guidelines-global-grant-funding>

●地域社会の経済発展 授与のガイドライン

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/community-economic-development-guidelines-global-grant-funding>

◆災害救援補助金 授与と受諾条件

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/terms-and-conditions-rotary-disaster-response-grants>

◆ローターアクターによる補助金の利用：よくある質問

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/how-rotaractors-can-participate-rotary-grants-frequently-asked-questions>

◆ロータリーの補助金のプレゼンテーション（PPT 資料）

<https://my.rotary.org/document/rotary-grants-presentation>

3. 財団の用語集（英略語）

本冊子「財団補助金申請ハンドブック」に使われている略語の説明です。

英略語

D	DDF	District Designated Fund	地区財団活動資金
	DG	District Grants	地区補助金
	DRFC	District Rotary Foundation Committee	地区ロータリー財団委員会
G	GG	Global Grants	グローバル補助金
M	MOU	Memorandum of Understanding	覚書
R	RI	Rotary International	国際ロータリー
	RRFC	Regional Rotary Foundation Coordinator	ロータリー財団地域コーディネーター
T	TRF	The Rotary Foundation	国際ロータリーのロータリー財団
V	VTT	Vocational Training Team	職業研修チーム
W	WF	World Fund	国際財団活動資金

その他

A	Area of Focus	重点分野
	Annual Fund	年次基金
C	Cooperating Organizations	協力団体
	Community Assessment	地域調査
F	Financing	資金調達
G	Global Grant Committee	グローバル補助金委員会
H	Host Counselor	受入側カウンセラー
	(Primary) Host Partner	実施国(代表)提唱者
I	(Primary) International Partner	援助国側(代表)提唱者
M	Measureable Outcomes	測定可能な成果
	(Project) Monitoring and Evaluation	(プロジェクトの)モニタリングと評価
P	Partners	協同提唱者
R	Reporting	報告
S	Sustainable Impact	継続する成果